

第八十六回
帝國議會
貴族院

所得稅法外十六法律中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

付託議案

○所得稅法外十六法律中改正法律案

○地方稅法及地方分與稅法中改正法律案

昭和二十年二月二日(金曜日)午前十一時十九分開會

○副委員長(男爵田中龍雄) ソレデハ委員會ヲ開會致シマス、御通告順ガアリマスヤウデアリマスケレドモ、通告順ハ委員會ガ御持チデアリマスノデ、取敢ヘズ政府委員ノ答辯ノ方ニ進メマス、ドウゾ御承願ヒタイと思ヒマス、大臣ガ御見エニナリマシタケレドモ、通告順ハ委員會ガ御持チデアリマスカラ、内田サン其ノ他御アリノヤウデアリマスケレドモ、チヨット變則ニ順序ヲ狂ハセルカモ知レマセヌガ、ドウゾ御承願ヒマス

○子爵梅園篤彦 新與所得階級ノ浮動購買力ノ吸收ノ急務デアリマスコトハ、政府ニ於テモ御認メニ相成ツテ居リマス、而シテ之ガ爲ニ國民貯蓄ト源泉課稅トニ依リマシテ、其ノ吸收ノ努力シテ居ラレマスルコトハ、誠ニ結構デアルト存ジマス、併シナガラ貯蓄ト源泉課稅等ニ依リマスダケデハ、未ダ十分デナイト云フコトハ、是亦政府モ御認メニナツテ居リヤウニ伺ツテ居リマス、然ラバ此ノ際ニ福券等ノ經驗ヲ御活シナリマシテ、更ニ一步進メテ富節制度ヲ實施シ、ソレニ依ツテ是等ノ新與所得階級ノ浮動購買力ノ吸收ノ萬全ヲ期サレト云フ御意思ハゴザイマセヌデセウカ、ソレニ依ツテ惡性「インフレ」ノ防止ヲ致スコトハ、極メテ緊要デアルト考ヘルノデアリマス、就キマシテハ政府ニ於テ此ノ富節制度ノ實施ノ御意思ガ御アリニナリマセウカドウカ、伺ヒタイト存ジマス

○國務大臣(石渡嘉次郎) 御尋ネノ富節ニ付キマシテハ、只今梅園子爵ノ申サレタヤウナ御趣旨ニ依リマシテ、今回臨時資金調整法ノ改正法律案ヲ出シテ居ルノデアリマス、其ノ臨時資金調整法ノ改正ガ幸ヒ御協賛ヲ得マシレバ、此ノ法律ニ依リマシテ富節ヲ發行スル豫定ニ相成ツテ居ルノデアリマス、其ノ富節ハ一億五千萬圓ツ、年四回ニ發行致シタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、額面金額ハ十圓、一等ノ富節ハ十萬圓ト今心算用ヲ致シテ居ルノデアリマス、六億圓ト見マシテ、其ノ半分ノ三億圓ハ國ノ收入ニ相成ル譯デアリマスカラ、其ノ三億圓ハ既ニ豫算ニモテ計上致シ、臨時軍事實費ノ財源トシテ其ノ方ニ繰リ込メ居ル次第デアリマシテ、富節ヲ實行致シマスコトハ、政府ニ於テモ既ニ其ノ準備中デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○子爵梅園篤彦 只今大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテ、富節制度ヲ御實施ニナルト云フコトヲ伺ヒマシテ、誠ニ機宜ニ適シタコトデ結構ト存ジマス、發言致シマシタ序デゴザイマスカラ、主務局長ニチヨット伺ヒタイと思ヒマス、ソレハ國債貯金トカ、地域貯金トカ、國債ノ割當ト云フコトヲ町會長トカ隣組長ト云フ者ヲシテヤラセテ居リマスコトハ、此ノ人手ノ足ラナイ今日

已ムヲ得ザルコトト思ヒマス、否、此ノ際ニ於キマシテハ寧ろ是ハ妙案デアラウカトモ思フノデアリマスルガ、中ニハ其ノ人ヲ得ナイ爲ニ、種々問題ヲ起シテ居ルヤウデアリマス、仍テ是等町會長隣組長等ノ監督ヲ嚴重ニシ、其ノ指導ノ萬全ヲ期スルト云フコトハ、勿論必要デアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、政府ニ於キマシテハドウ云フ風ニオヤリニナツテ居リマスカ、又如何様ニ監督指導ヲヤツテ居ラレマスルカ承リタイノデアリマス、尙、町會長隣組長ノ手許ニ於キマシテ保管又ハ預ツテ居リマス所ノ現金ダトカ公債ダトカ云フヤウナモノガ、燒失ヲ致シマスストカ紛失ヲ致シマシタ場合ニ、其ノ責任竝ニ之ガ補填ハドウ云フ風ニヤツテ居ルノデアリマセウカ、更ニ不可抗力ノ空襲、或ハ地震ニ因ツテ、公債デアルトカ現金デアルトカ、サウ云ツタ物ヲ喪失致シマシタ場合ニハ、ドウ云フ風ニ相成ルノデアリマセウカ、局長ノ御説明ヲ煩シタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐孝) 町會長或ハ隣組長等ノ一般監督指導ニ關シマシテハ、内務省ノ所管デアリマスノデ、ソチカラ御答辯申上ゲタイト思ヒマス、唯後段ノ隣組長、町會長、其ノ他デ預リマシタ現金或ハ證券等ノ問題デアリマスガ、隣組等ニ於テ今日税金ヲ納付スル爲ニ現金ヲ取纏メルトカ、或ハ隣組、町會長等ニ委託シテ納付ヲシテ貰フト云フヤウナ意味デ、現金ヲ預ケテ置クヤウナ場合ガアルノデアリマ

スガ、斯ウ云フ場合ニ紛失致シマシタリ、或ハ不可抗力ヲ失シタト云フヤウナ場合ハ、從來ハ規定ガナカツタノデアリマスガ、今回稅法ニ規定ヲ設ケマシテ、隣組等ニ於テ税金ノ爲ニ預ケテアツタ現金ガ亡失致シマシタ場合ハ、之ニ對シマシテ納稅義務ヲ免除スル、若シハ輕減スル、其ノ亡失シタ金額ニ應ジテ或限度ノ國稅ノ納稅義務ヲ免除若シハ輕減スル、是ハ國稅ノミデハアリマセヌ、市町村稅等ニ付キマシテモ斯ウ云フ規定ヲ設ケマシテ、此ノ點納稅者ノ損失ナキヤウニ措置ヲ施シテアリマス、又國債デアルトカ其ノ他ノ證券等ガ亡失シタ場合ニ付キマシテハ、國債ニ付キマシテハ、例ヘバ先年御審議ヲ經マシタト思ヒマスガ、國債等ヲ町會長等ニ於テ亡失シタ場合ニハ、之ヲ簡易ニ再交付ヲ爲ス手續ヲ定メマシテ、サウ云フ途ガ開カレテ居ルヤウナ次第デアリマス、隣組等ノ預リマシタ税金ノ爲ノ現金デアルトカ證券類ニ對シマシテハ、サウ云フ措置ガ講ゼラレテ居ルヤウナ次第デアリマス

○竹下豐次 私が今拜聽シテ居リマシタ所ニ依リマス、御尋ノ方ハ、隣組長ガ預ツテ居ツタ金錢ガ亡失シタ場合ノヤウニ承ツタノデアリマス、處ガ只今局長ノ御答辯ニ依リマスルト、新タニ法律デサウ云フ場合ニハ免除スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ラシイノデアリマス、斯ウ云フ御答辯ノヤウニ承ツタノデス、處ガ改正法律案ノ十五條ヲ見マスルト、是ハ「納稅

團體ニ對シ國稅ノ納付ヲ委託シテ交付シタル金錢等ガ亡失シタル」ト云フコトニナツテ居リマスノデ、町會ナドニ持ツテ行ツタ場合ハサウダト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、隣組長ニ持ツテ行ツタ場合モ此ノ團體ト云フノニ含マレルノデスカ

○政府委員(田中豐孝) 法律ハ「納稅團體ノ管理スル納稅資金、現金ト、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルコトハ、御説ノ通りデアリマス、隣組等ノ場合ハ此ノ納稅團體ノ、何ト申シマスカ、手足機關タルベキモノト考ヘマシテ、隣組ノ組長ガ預ツテ居ル場合ニ亡失シタ場合ニモ此ノ規定ヲ適用致スト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵梅園篤彦 新與所得階級ノ浮動購買力ノ吸收ノ急務デアリマスコトハ、政府ニ於テモ御認メニ相成ツテ居リマス、而シテ之ガ爲ニ國民貯蓄ト源泉課稅トニ依リマシテ、其ノ吸收ノ努力シテ居ラレマスルコトハ、誠ニ結構デアルト存ジマス、併シナガラ貯蓄ト源泉課稅等ニ依リマスダケデハ、未ダ十分デナイト云フコトハ、是亦政府モ御認メニナツテ居リヤウニ伺ツテ居リマス、然ラバ此ノ際ニ福券等ノ經驗ヲ御活シナリマシテ、更ニ一步進メテ富節制度ヲ實施シ、ソレニ依ツテ是等ノ新與所得階級ノ浮動購買力ノ吸收ノ萬全ヲ期サレト云フ御意思ハゴザイマセヌデセウカ、ソレニ依ツテ惡性「インフレ」ノ防止ヲ致スコトハ、極メテ緊要デアルト考ヘルノデアリマス、就キマシテハ政府ニ於テ此ノ富節制度ノ實施ノ御意思ガ御アリニナリマセウカドウカ、伺ヒタイト存ジマス

○國務大臣(石渡嘉次郎) 御尋ネノ富節ニ付キマシテハ、只今梅園子爵ノ申サレタヤウナ御趣旨ニ依リマシテ、今回臨時資金調整法ノ改正法律案ヲ出シテ居ルノデアリマス、其ノ臨時資金調整法ノ改正ガ幸ヒ御協賛ヲ得マシレバ、此ノ法律ニ依リマシテ富節ヲ發行スル豫定ニ相成ツテ居ルノデアリマス、其ノ富節ハ一億五千萬圓ツ、年四回ニ發行致シタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、額面金額ハ十圓、一等ノ富節ハ十萬圓ト今心算用ヲ致シテ居ルノデアリマス、六億圓ト見マシテ、其ノ半分ノ三億圓ハ國ノ收入ニ相成ル譯デアリマスカラ、其ノ三億圓ハ既ニ豫算ニモテ計上致シ、臨時軍事實費ノ財源トシテ其ノ方ニ繰リ込メ居ル次第デアリマシテ、富節ヲ實行致シマスコトハ、政府ニ於テモ既ニ其ノ準備中デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○子爵梅園篤彦 只今大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテ、富節制度ヲ御實施ニナルト云フコトヲ伺ヒマシテ、誠ニ機宜ニ適シタコトデ結構ト存ジマス、發言致シマシタ序デゴザイマスカラ、主務局長ニチヨット伺ヒタイと思ヒマス、ソレハ國債貯金トカ、地域貯金トカ、國債ノ割當ト云フコトヲ町會長トカ隣組長ト云フ者ヲシテヤラセテ居リマスコトハ、此ノ人手ノ足ラナイ今日

已ムヲ得ザルコトト思ヒマス、否、此ノ際ニ於キマシテハ寧ろ是ハ妙案デアラウカトモ思フノデアリマスルガ、中ニハ其ノ人ヲ得ナイ爲ニ、種々問題ヲ起シテ居ルヤウデアリマス、仍テ是等町會長隣組長等ノ監督ヲ嚴重ニシ、其ノ指導ノ萬全ヲ期スルト云フコトハ、勿論必要デアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、政府ニ於キマシテハドウ云フ風ニオヤリニナツテ居リマスカ、又如何様ニ監督指導ヲヤツテ居ラレマスルカ承リタイノデアリマス、尙、町會長隣組長ノ手許ニ於キマシテ保管又ハ預ツテ居リマス所ノ現金ダトカ公債ダトカ云フヤウナモノガ、燒失ヲ致シマスストカ紛失ヲ致シマシタ場合ニ、其ノ責任竝ニ之ガ補填ハドウ云フ風ニヤツテ居ルノデアリマセウカ、更ニ不可抗力ノ空襲、或ハ地震ニ因ツテ、公債デアルトカ現金デアルトカ、サウ云ツタ物ヲ喪失致シマシタ場合ニハ、ドウ云フ風ニ相成ルノデアリマセウカ、局長ノ御説明ヲ煩シタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐孝) 町會長或ハ隣組長等ノ一般監督指導ニ關シマシテハ、内務省ノ所管デアリマスノデ、ソチカラ御答辯申上ゲタイト思ヒマス、唯後段ノ隣組長、町會長、其ノ他デ預リマシタ現金或ハ證券等ノ問題デアリマスガ、隣組等ニ於テ今日税金ヲ納付スル爲ニ現金ヲ取纏メルトカ、或ハ隣組、町會長等ニ委託シテ納付ヲシテ貰フト云フヤウナ意味デ、現金ヲ預ケテ置クヤウナ場合ガアルノデアリマ

コトガアツタノデアリマス、處ガ其ノ當時ノ大藏大臣、只今ノ石渡サシデアリマシタガ、其ノ意思ナシト云フコトデアリマシタ、其ノ後此ノ工員等ニ對スル資金吸收ノ方法トシテ、源泉課稅又ハ貯蓄ノ獎勵ト云フコトヲヤツテ居ラレタト云フコトデアリマスガ、ソレハ誠ニ結構ノコトデアリマスルガ、其ノ程度ハドウ云フ御取扱ニナツテ居リマスルカ、其ノ御説明ヲ一應承リタイト思ヒマス、ソレト同時ニ、昨日此ノ法律ノ施行ニ依ツテ浮動購買力ワドノ位吸收スルコトガ出來ルカト云フコトヲ御尋ネシタ處ガ、一般ノ御答辯ガアリマシタ、ソレハ國民總テニ互ルモノデアリマシテ、私ノ御尋ネシタイノハ、勤勞階級ヨリ幾許ノ金ヲ吸收シ得ルヤト云フ眼目デアツタノデアリマス、ソレニ對スル御答ガ出來マスレバ結構デアリマス、ソレカラ只今富籤ノ御話ガアリマシタガ、此ノ富籤モ誠ニ結構ト思ヒマスガ、其ノ彩票ヲ買ヒマスル者ハ、或一定ノ人々ニ限定スルノデアリマスルカ、何人モ之ヲ購入スルコトガ出來ルノデアリマスルカ、又ハ政府ノ見ル所ニ依レバ、之ニ依ツテ幾許ノ金ヲ新興所得階級ヨリ吸收スルコトガ出來ルコト云フ御考デアリマセウカ、先ヅ其ノ點ヲ御答辯ヲ承リタイ

○國務大臣(石渡藏太郎君)

橋本サシノ重ネテノ御尋デアリマスガ、稅ニ致シマシテ貯蓄ニ致シマシテモ、又今日賣ツテ居リマスル福券ニ致シマシテモ、又富籤ニ致シマシテモ、其ノ中ニ勤勞階級ノ分ガ幾ラアルカト、斯クノ如キ調ハ込モ不可能ナコトデアリマスノデ、左様ナ調ヲ持合セテ居リマセヌ、唯勤勞階級ト言ヒマシテモ、勤勞階級ノ中ニモ、アナタノ言ハレル新興階級

ノ者モ、ソレ以外ノ者モアルト思フノデアリマス、左様ナコトヲ區別致シマスル調査ノ仕方ガゴザイマセヌ、貯蓄ニ致シマシテモ一々アナタハ一體ドウ云フ新興所得階級ニ屬スルカドウカト聽ク譯ニモ行キマセヌノデ、從ツテ左様ナ調ヲ致シ、政府ガ自信ヲ持ツテ、其ノ新興階級ノ分ガ幾ラアルカト云フコトヲ申上ゲマスコトハ不可能デアルト思ヒマス、唯大體ノ觀察致シマシテ、斯様ナ方向ニ金ガ餘計ニ流レテ行クデアラウ、斯様ノ債券ヲ發行シタラ其ノ方面ノ人ガ餘計ニ買フデアラウト、斯様ナ觀點カラ致シマシテ、大キナ綱ヲ實ハ打ツ積リナノデアリマシテ、其ノ綱ノ中ニ新興所得階級ガ幾ラアルカ、普通ノ人ノ階級ガ幾ラアルカト云フコトハ、是ハ喋ルコトモムヅカシウゴザイマスシ、又見込ヲ立テルコトモ困難デアリマス、御説ノヤウナ富籤ノ發行モ無論新興所得階級ト云フヤウナ方面ヲ狙ツテ居ルノデアリマスガ、今日發行致シテ居リマス福券モ、昨年二回發行致シタノデアリマスガ、此ノ福券ニ付キマシテモ主トシテ其ノ方面ニト云フノデ、出來ルダケ自由勞務者、所謂勞務報國會、或ハ産業報國會等ヲ通ジマシテ、出來ルダケ其ノ方面ニ餘計賣ツタ、即チ三分ノ二近イモノハ其ノ方面ニ賣ツテ、サウシテ役人デアリマス、普通ノ會社員デアリマストカ云フヤウナ、戰前カラ見マシテ所得ノ増加シナイ人々ニハ、出來ルダケ賣ラナイ方法ヲ考ヘタノデアリマス、大藏省アタリデモ左様モノハ出來ルダケ普通ノ役人ハ買ハヌト云フ方

向ニ實ハ持ツテ行ツテ居ル次第デアリマス、ソレモ今アナタノ仰セノアルヤウナ新興所得階級ト云フモノヲ狙ツテ發行致シタノデアリマスカラ、努メテ其ノ方面ニ行クヤウニ計ラツテ居ルノデアリマス、併シナガラ果シテソレガ何「バーセント」アツタノデアルカドウカト云フコトハ、是ハドウモハツキリ分リマセヌ、ソレカラ此ノ強制貯蓄ノ問題デアリマスガ、所謂法律ニ強制致シテ貯蓄致シテ居リマスル部分ハ今日ノ狀況ニ於テモ極メテ僅カデアリマシテ、或程度ハ今日法規ヲ以テ強制ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ他ハ國民ノ自發的ノ貯蓄ニ依ツテ貯蓄ノ大キナ額ト云フモノガ形成致サレツ、アルノデアリマシテ、前賀屋大藏大臣モ強制貯蓄ヲ主流トシナイデ、サウシテ國民ノ愛國心ニ依ル所ノ自由貯蓄ト云フモノヲ主眼ニ致シマシテ、此ノ大キナ貯蓄ヲ形成シ來タラレタノデアリマス、此ノ方針ハ今日モ採ツテ居ル方針デアリマスシ、又今後モ左様デナケレバナラヌト思フノデアリマス、今各會社ニ幾ラ位ノ割付ケラシテ居ルカト云フ御話デアリマスケレドモ、是ハ何レモ各府縣ガ一定ノ割合ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ各府縣ガ、自ラ一定ノ割合ノ下ニ各工場へ幾ラ位ノ貯蓄ヲシテ欲シイト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、決シテ強制シタ貯蓄デアリマセヌガ、併シナガラ自ラ申合セマシテ、半強制的ノヤウナ貯蓄ヲ致シテ居リマスコトハ事實デアリマス、其ノ割合ヲ全國一律ニト云フ譯ニモ行キマセヌ、又工場ニ依ツテモ差ガアルノデアリマス、實際新興階級ノ多イ工場モアリマスシ、又會社ノ業績振ハズ、戰前ト餘リ變ラナイヤウナ會社モアルノデアリマスカラ、ソレヲ一律ニト云フコトハ非常ニ困難デアリマス、困難デアリマスガ、ソレハ大藏省、府縣、市町村、會社各

方面ニ於テ打合セマシテ、大體此ノ會社デハ此ノ位ヤツテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトデ進ンデ居ルノデアリマス、又全國一律デナイ所ニ、私ハ今日ノ強制シナイ貯蓄ノ妙味ト云フモノガ存シテ居ルト思フノデアリマス、之ヲ新興階級即チ所得ノ増加シタ部分ト、シナイ部分トヲ法規ニ依ツテ分ケテ、サウシテ貯蓄ヲ殖ヤシマスト云フコトハ、實行上非常ニ困難デアラウト思ヒマス、ドウゾ左様ニ御承知願ヒタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君

強制貯金ヲ厲行スルト云フコトハイケナイト云フ御意見ヲ今日尙堅持サレテ居ルサウデアリマスガ、ソレモ見方ニ依ツテハ宜カラウト思ヒマスケレドモ、其ノ階級次第ニ依リマシテハ、其ノ人ノ自發的ノ自由裁量ニ依ツテ國家ノ財政ニ貢獻スル、詰リ程度ガ違ヤシナイカト思ヒマス、相手ヲ矢張り見テ、其ノ相手ニ相當スルヤウナ取扱ヲスルノガ宜クハナイカト私ハ思ヒマス、尤モ工員ノ中ニモ非常ニ熱烈ナル愛國者ノアルコトハ勿論デアリマスケレドモ、或一部ニハサウデナイ者モアルノデハナカラウカト察セラレル點モアルノデアリマス、處デ、只今ノヤリ方ノ多分天引ト云フコトニシテ貯金ヲサセルト云フコトデアリマスケレドモ、サウ云フコトニナルト、殆ド強制ト別ニ選ブ所ハナイノデアリマス、名ダケハ自由デアリマスガ、會社會社デ賃金ヲ渡ス時ニ天引ヲシテヤルト云フコトハ、明カニ是ハ法規ニ依ルノデハナイケレドモ、是ハ強制ト同ジヤウナコトニナツテ居ルト思ヒマス、ソレハ大變宜イト思ヒマスガ、要スルニ私ハ、新興所得階級ノ浮動購買力ヲ吸收シテ、之ヲ以テ公債ノ消化ニ

充テルノデナケレバ、公債ノ圓滿ナル消化ハ不可能デアナイカト云フ意見ヲ豫テカラ持ツテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り中小商工業者ハ非常ニ疲弊困憊ヲ致シマシテ、今日ハ公債ナドヲ持チマス餘裕ハ殆ドナイノデアリマス、之ニ反シマシテ勞働階級ニ於キマシテハ、不當ナル收入ヲ得テ居ル者モアルノデアリマスルガ、先ヅ規定ノ賃金ヲ貰ツテ、之ニ依ツテ天引セラレモノ、若シハ源泉課稅セラレルモノハ姑ク措キマシテ、工場ニ依ツテハ、其ノ職工ガ普通ノ賃錢ニ甘ンゼズシテ、總テノ工事を請負制度ニスルト云フコトガ行ハレテ居ルヤウニ思ヒマス、是ハ各工場ノミナラズ、例ヘバ港灣ノ荷役等ニ於キマシテモ、亦其ノ例ガ多アルト云フコトモ聞イテ居リマス、或工場ニ於キマシテハ、例ヘバ或修繕ヤスルノニ之ヲ組長ニ命ジマシタ處、百人ノ職工ヲ用ヒテ一週間掛ルト言ウタノヲ、請負ニサセタ處ガ之ヲ二日デヤリ上ゲタ、要スルニ二日ニシテ一週間分ノ收入ヲ得タト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ例ガ多シマシテハ、ドウ云フ御取扱ニナツテ居ルノデアリマスカ、要スルニ澤山ノ所得ガアルニモ拘ラズ、ウマク課稅ヲ免レテ居ルト云フコトハ、此ノ時節柄見逃シ得ベカラザルコトノヤウニ思ヒマスルガ、是等ニ對シテドシナ御取扱ニナツテ居リマスルカ

○國務大臣(石渡藏太郎君)

法律ハ所得ニ依ツテ課稅致スノデアリマスルカラ、請負デアラウト賃金デアラウト、本人ノ所得ガ増加致シマスレバ、ソレハ課稅ノ對象ニ相成ル筈デアリマス、但シ實際上稅務署ノ調査ノ手が行キ届

カヌガ爲ニ、漏レテ居ルモノモアルト
思フノデアリマス、左様ナモノハ、今
同豫算ニ於キマシテモ相當ナ豫算ヲ要
求致シテ居ルノデアリマシテ、左様ナ
調ハ今後ニ於テ十分ニ致シタイト存
ジテ居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 私ノ申シマスル所謂
新興所得階級ニ對スル浮動購買力ノ吸
收ノ手段方法ト云フモノハ、此ノ法律
ニ依ツテヤリマシテモ、又政府ノヤリ
方ニ依ツテモ、今日デハ非常ニ微温的
デ、徹底的ニ其ノ目的ヲ達シテ居ラ
ズ、或者ハ多額ノ所得ガアルニ拘ラ
ズ、課税ヲ自然ニ免レテ居ル、ソレニ
反シテ、資本收入ノ如キモノハ一厘モ
逃レルコトナクシテ、眞面目ニ課税ヲ
受ケテ居ル、斯ウ云フコトカラ考ヘマ
シテモ、税ノ負擔ノ不公平ト云フコト
ニナルノデアリマス、勞働階級ノ收入
ニ對シテ税ヲ取立テルト云フコトハ非
常ニ困難デアアルコトハ、我々素人デモ
察セラレマスケレドモ、大藏省ハ其ノ
方ノ專門家デアリマスルカラ、何等カ
是等ノ老ヨリ稅ヲ吸收スルカ、若シク
ハ貯金ヲヨリ多ク取立テテ、以テ公債
ノ消化等ニ貢獻セシムルト云フコトニ
對シテノ打ツ手ヲ十分御考ニナツテ居
リ、又御考案ニナツテ居ルコトと思ヒ
マスルガ、ソレ等ニ付キマシテノ御意
見ヲ承ルコトガ出来レバ、大體仕合セ
ト思ヒマス

○國務大臣(石渡嘉次郎君) 只今御尋
ノ點ニ付キマシテハ、先般來度々御
答ヘ致シテ居リマスヤウナ、新興所得
階級ノ方面ニ向ツテ、更ニ貯蓄ノ増強
モ圖ル、又課税モ出來得ル限リ徹底致
スヤウニシテ行カウ、更ニ富強等モ登
行シテ其ノ資金ノ吸收ニ充テヨウ、斯
ウ云フヤウナ考ヘ方ヲ致シテ居ルノデ

アリマス、具體的ノ問題ニ付キマシテ
ハ、ソレハ其ノ施策ヲ進メテ行キタ
イト思ツテ居ル次第デアアルコトヲ、御
承知戴キタイと思フノデアリマス

○橋本辰二郎君 具體的ノ方策ヲ御進
メニナツテ居ルト云フコトデアリマ
スルカラ、何レ私ノ希望スルコトノ御
實行ニ近附クコトヲ私ハ信ジマス、近
來農家ノ收入ガ餘裕殖エテ、農家ハ大
分富裕ニナツテ、餘裕ノ生ジテ居ルヤ
ウニ聞キマスルガ、是等ニ對シマシ
テ、公債ノ消化ヲ割當テルト云フコト
ハ最モ望マシイコトと思ヒマスルガ、
何等カ之ニ付キマシテ手段ヲ御執リニ
ナツテ居リマスカ

○國務大臣(石渡嘉次郎君) 農家ノ方
面ニ付キマシテハ、農業會ガ中心ニ相
成ツテ居ルノデアリマシテ、農産物ノ
賣上等ハ大體此ノ農業會ノ預金ニ相成
ツテ居リマス、從ヒマシテ農業會ノ預
金ト云フモノハ非常ニ激増ヲ致シテ居
ルノデアリマス、支那事變ノ當時ト、
今日ト比ベマスレバ、恐ラク十倍以
上ニ達シテ居ルト思フノデアリマス、
ソレデ此ノ農業會ニ於キマシテ或ハ公
債ヲ買ヒ、或ハ其ノ他ノ國ト密接ノ關
係ノアリマス所ノ債券ヲ買フ、斯ウ云
フコトヲ致シテ居ルノデアリマシテ、
農家ガ直接ニ公債ヲ買ツテ居ルト云フ
類ハ、或ハ少イカモ知レナイノデアリ
マス、其ノ他直接公債ノ割當ヲシテ、
公債ヲ買ツテ居ル者モゴザイマスガ、
今日ノ狀況ニ於キマシテハ此ノ農業會
ガ、大體農業會カラ生ジタ所ノ所得ノ
預金ト云フモノハ、殆ド其ノ全部ヲ吸
收致シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ
農業會ガ主ニナツテ公債ノ消化其ノ他
今日ノ金融方面カラ來マス所ノ國策ノ
遂行ニハ、非常ニ協力ヲ致シテ居ル次

第デアリマス
○橋本辰二郎君 大體御趣意ノアル所
ダケハ分リマシタガ、是ハ後デモ宜シ
ウゴザイマス、無論政府委員カラノ御
答辯デ結構デゴザイマスガ、全國ノ農
業者中三千圓以上ノ收入ガアリ、所得
稅ヲ負擔シテ居ル者ハ、ドウ云フ割合
ニナツテ居リマセウカ

○政府委員(田中豐君) 後デ御答ヘ申
上ゲマス
○内田重成君 私ハ大藏大臣ニ一二御
尋ヲ致シタイノデアリマス、當今惡性
インフレーションノ誘發ノ懸念ガ頗ル
顯著デアアルト云フコトハ何人モ認メテ
居リマスルガ、只今巷間傳フル所ニ依
リマスレバ、米一升ガ十圓ハ安イ方デ
ヤト申シテ居リマス、'ウイスキー'一
本ガ百五十圓カラ二百五十圓ノ間デ容
易ニ賣買サレ、酒一升ガ八十圓カラ百
二十圓位デ常ニ賣買サレ、甘藷ガ六圓
カラ八圓ト云フコトガ普通ノ相場デア
ルト云フヤウナコトヲ申シテ居リマ
ス、又日傭人夫アタリガ二十圓乃至三
十圓、處ガ只今橋本委員カラノ御話ノ
ヤウニ、ソレデモ安イト云フコトデ、
大抵諸取仕事デナケレバ人ニ儲ハレナ
イト云フヤウナ狀態デアリマシテ、其
ノ賃金ヲ計算致シマスルト、一日五十
圓乃至六十圓ト云フヤウナ賃金ニナル
ト云フヤウナコトヲ申シテ居リマス、
私モ最初ハ是ハ全ク誇大的ナ言説デア
リマシテ、實際デハナイト云フヤウナコト
ニ感ジテ居リマシタガ、昨年來其ノ實
情ヲ調査シテ見マスルト云フコトヲ、矢張
リ是ハ事實デアアルト云フコトヲ知ルノ
デアリマシテ、此處ニ矢張り惡性'イン
フレーション'ノ段階ヲ生ズルモノ
デアアルト云フコトヲ考ヘテ、頗ル憂慮
ニ堪ヘナイ感ジヲ持ツノデアリマス、

申ス迄モナク一度惡性'インフレーション'
ノ狀態ニ入リマスルト云フト、
國ノ總テノ經濟機構ハ運行ヲ停止シ、
經濟秩序ハ破壞セラレ、其ノ結果ハ健
全ナル國民精神ノ喪亡ニ迄進ムノデア
ルト云フコトハ、平生承ツテ居ルノデ
アリマスルガ、サウナツテハ到底今度
ノ戰爭ノ完遂モ出來ナイ譯デアアルカ
ラ、何トシテモ此ノ惡性'インフレー
ション'ヲ防止シテ、經濟秩序ノ維持
ニ全力ヲ盡サネバナラヌト云フコト
ハ、今更私ノ申上ゲル迄モナイコトデ
アリマシテ、其ノ防止ニ付キマシテ
ハ、第一ニ大藏大臣ハ平生非常ニ御心
痛ニ相成ツテ居ルコトデアアルト云フコ
トヲ承ツテ居ルノデアリマス、政府ハ
既ニ其ノ防止ノ對策ニ付テハ、御研究
ニナツテ居ルト云フコトヲ疑ハナイノ
デアリマス、今度ノ稅制改正モ其ノ御
研究ノ結果、一般購買力ノ吸收ノ爲
ニ、稅法改正案ヲ出シタト云フコトノ
理由ガ出テ居リマスガ、矢張り其ノ一
面デアラウト考ヘルノデアリマス、此
ノ'インフレーション'防止ノ對策ヲ致シマシ
テハ、單ニ財政金融方面バカリデナク
テ、生産トカ配給トカ消費、物價、賃
金ト云フヤウナ各部面ニ各對策ヲ必要
ト致シテ、其ノ關係スル所ハ軍部モア
リマセウ、ソレカラ内務省關係モアリ
マセウ、厚生省、司法省ト云フヤウナ
方面ノ各省ニ關聯スル所ガ甚ダ多いノ
デアリマス、單純ニ之ヲ大藏當局ダケ
ノ問題トスル譯ニハ參ルマイト感ジテ
居ルノデアリマス、ソコデ此ノ'インフ
レーション'防止對策ニ付キマシテ、殊ニ一
ツノ關聯シタル、連絡アル機關ヲ設ケ
ラレテ、其ノ機關ニ於テ對策ヲ研究シ、
及ビ之ヲ運營スルノデナケレバ、極メ
テ急速ニ、遠大ニ、直接ニ效果ヲ見ル

ト云フコトハ至難デアアルト考ヘル、ソ
レヲ實現ニシテ未ダ政府ニ於キマシ
テ、左様ナ對策ノ機關ガ出來テ居ルト
云フコトヲ承ラナイノデアリマス、昨
年ノ春以來貴族院ノ財政金融調查會ニ
於キマシテ調査サレテ、最近ニ防止對
策ト云フ案ガ出來タト云フコトデ、先
般其ノ總會ヲ開カレタノデアリマス、
ソレヲ見マスルト、相當適切ナル御意
見モアルヤウデアリマス、是等ハ貴族
院ナリ其ノ他民間團體ノ研究ヲ俟ツ迄
モナク、政府ニ於テ當然應大ナル一ツ
ノ機關ヲ設ケラレテ、其ノ機關ニ於テ
速カニ調査運營實行ニ移サレテ各省ヲ
一貫ノ方途ニ向ツテ進メラレテ行クベ
キ筈デアアルト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、果シテサウ云フ風ハ、今政府ニ於テ
機構ガ御出來ニ相成ツテ居リマスルカ
否ヤ、私ハ未ダ聞キ得マセヌノデ、又
果シテ機構ガ出來テ居リマスルコトナ
ラバ、其ノ機構ニ於テ立テラレマシタ
'インフレーション'防止對策ノ全體ノ建前ハ
ドウ云フ風ニ相成ツテ居リマスカ、少
クトモ此ノ貴族院ニ於テ防止對策ト
シテ提ゲラレタル項目位ノモノハ、
既ニ業ニ確定ヲシテ、而シテ之ヲ實行
ニ移サレテ居ル筈デアアルト考ヘルノデ
アリマスカラ、其ノ未ダ效果ノ見ルベ
キモノナクシテ、日々ニ於テ關取引、
關賃金ノ聲ガ日々ニ増大シ、而シテ
其ノ勢ノ趨ク處測ルベカラザル經濟秩
序ノ破壞ニ陥ルノデハナイカト云フ虞
ヲ大ナラシムルモノガアルノデアリマ
ス、果シテ杞憂ナラバ極メテ幸セデア
リマスガ、今日ノ情勢ヲ以テスルナラ
バ、恐ラクハ此ノ點カラ遂ニ甚ダ不祥
ナル言ヲ弄セナケレバナラヌコトニ立
チ至ルノデアリマスガ、政府ノ御方針ハ、

申ス迄モナク一度惡性'インフレーション'
ノ狀態ニ入リマスルト云フト、
國ノ總テノ經濟機構ハ運行ヲ停止シ、
經濟秩序ハ破壞セラレ、其ノ結果ハ健
全ナル國民精神ノ喪亡ニ迄進ムノデア
ルト云フコトハ、平生承ツテ居ルノデ
アリマスルガ、サウナツテハ到底今度
ノ戰爭ノ完遂モ出來ナイ譯デアアルカ
ラ、何トシテモ此ノ惡性'インフレー
ション'ヲ防止シテ、經濟秩序ノ維持
ニ全力ヲ盡サネバナラヌト云フコト
ハ、今更私ノ申上ゲル迄モナイコトデ
アリマシテ、其ノ防止ニ付キマシテ
ハ、第一ニ大藏大臣ハ平生非常ニ御心
痛ニ相成ツテ居ルコトデアアルト云フコ
トヲ承ツテ居ルノデアリマス、政府ハ
既ニ其ノ防止ノ對策ニ付テハ、御研究
ニナツテ居ルト云フコトヲ疑ハナイノ
デアリマス、今度ノ稅制改正モ其ノ御
研究ノ結果、一般購買力ノ吸收ノ爲
ニ、稅法改正案ヲ出シタト云フコトノ
理由ガ出テ居リマスガ、矢張り其ノ一
面デアラウト考ヘルノデアリマス、此
ノ'インフレーション'防止ノ對策ヲ致シマシ
テハ、單ニ財政金融方面バカリデナク
テ、生産トカ配給トカ消費、物價、賃
金ト云フヤウナ各部面ニ各對策ヲ必要
ト致シテ、其ノ關係スル所ハ軍部モア
リマセウ、ソレカラ内務省關係モアリ
マセウ、厚生省、司法省ト云フヤウナ
方面ノ各省ニ關聯スル所ガ甚ダ多いノ
デアリマス、單純ニ之ヲ大藏當局ダケ
ノ問題トスル譯ニハ參ルマイト感ジテ
居ルノデアリマス、ソコデ此ノ'インフ
レーション'防止對策ニ付キマシテ、殊ニ一
ツノ關聯シタル、連絡アル機關ヲ設ケ
ラレテ、其ノ機關ニ於テ對策ヲ研究シ、
及ビ之ヲ運營スルノデナケレバ、極メ
テ急速ニ、遠大ニ、直接ニ效果ヲ見ル

國務大臣トシテノ大藏大臣カラ御話ヲ承リタイト考ヘル、而シテ若シ政府ニ於テ未ダ左様ナ機構ガ出來テ居ラヌモノト致シマスルナラバ、大藏大臣御自身ノ御抱懷ニ相成ツテ居ル「インフレ」防止對策ニ於ケル全面的ノ御高見ヲ承リ、而シテ將來之ヲ施策ニ移サル、段階ニ於キマシテ、又各省ノ其ノ部面ニ對スル指導ヲサレマスル上ニ於キマシテモ、其ノ御抱負等ヲ承リタイト云フコトヲ第一點ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 戰爭ガ大キク相成ツテ來マシテ、勢ヒ財政ガ膨脹ヲシテ來ル、此ノ財政ヲ全部稅金デ賄ヘルト云フコトデアリマスレバ、通貨ノ流通増ト云フモノハ起ラナイ筈デアリマス、併シナガラ大キナ財政ヲ賄ツテ行キマスニハ、ドウシテモ一面ニ於テハ公債ヲ發行致シテ行ク必要ノアリマスコトハ、昨日澤田委員ノ御尋ネニ對シテ御答ヘ致シタ通りデアリマス、公債ヲ發行シテ行キマスレバ、單リ此ノ「インフレ」ノ進行ト云フヤウナコトバカリデアリマセズ、色々ナ點カラ致シマシテ、通貨ノ膨脹ト云フモノヲ來ス、從ツテ公債ト云フモノハ全部ガ全部消化ヲ致サナイ、全部ガ全部消化ヲ致サナイト云フ所ガ、私ハ戰爭ノ遂行ヲ致シテ行ク一ツノ條件デアツテ、是ガ全部ガ全部消化シテシマフト云フコトデアリマスレバ、矢張り私ハ此ノ戰爭ニハ幾多ノ障礙ノ起ツテ來ルモノダト思フデアリマス、矢張り通貨ノ或程度ノ流通増ト云フコトハ已ムヲ得ザル現象デアルト共ニ、又戰爭遂行ノ一ツノ條件デアルヤウニ考ヘタイノデアリマス、ソレハ軍需生産ノ進行、急激ナル増加、左様ナコトガ一面ニ於テ必要

デアルト存ジマスルカラ、左様ナ必要ニ基キマシテ、ドウシテモ通貨ノ流通増ト云フコトガ起ツテ來ル、又起ラザルヲ得ナイ、其ノ通貨ノ流通増ト云フモノハ、一面ニ於キマシテハ、公債ガ結局實レ殘ルト云フ形ニ於テ通貨ノ流通増ト云フコトガ行ハレル、此ノ事ハ、今日戰爭ヲ致シテ居リマス何レノ國ニ於キマシテモ、亦何レノ時代ノ戰爭ニ於テモ、矢張り左様ナコトハ起ルモノデアアル、其ノ通貨ノ流通増ト云フコト、又一面ニ於テハ、普通物資、詰リ銃後ニ於ケル所ノ物資ノ不足ト云フコトカラシマシテ、矢張り軍需物資充足ノ爲ニ、一般國民ノ消費致ス所ノ物資ガ不足ヲ致シテ來ルト云フ點ヨリ致シマシテ、此ノ二ツノ方面、一ツハ通貨ノ方面ヨリシテ、一ツハ物資ノ方面ヨリ致シマシテ物資價高ノ傾向ヲ帶ビルト云フコトハ、戰爭經濟ノ一ツノ大キナ特徵デアルト思フデアリマス、是ハ或程度已ムヲ得ナイト思フデアリマス、併シナガラ今アナタノ仰セニナリマシタヤウナ、銃後ニ於ケル急激ナル物資價ノ騰貴ト云フモノハ、是ハ防ガナレバナラヌ、從ヒマシテ通貨ノ急激ナル流通増、又物資價ノ急激ナル物資價高ト云フコトハ、銃後ニ於ケル色々ナル經濟上障礙ヲ起シテ來マシテ、延イテハ戰力ノ低下ヲ來ス虞ノアリマスコト申ス迄モゴザイマセヌ、政府モ左様ナ見地カラ致シマシテ、此ノ支那事變以來貯蓄ニ又増稅ニ生産ニ配給ニ資金運賃、各般ノ物資ニ關係致シマス方面、又物資ニ關係致シマス方面、通貨ニ關係致シマス方面ニ於テ、經濟秩序ヲ維持ト云フコトニ付キマシテハ隨分骨ヲ折ツテ來タト思フデアリマス、戰爭ノ、支那事變始マリマシタ時分ノ十二三億ノ

稅、三十億ノ豫算ヲ以テ、今日ノ一千億ノ豫算、百七十億ノ稅ト云フコトヲ、斯様ナコトヲ考ヘマスレバ、サウシテ一方ニ於テ、物資價ノコトヲ考ヘマスレバ、私ハ矢張り此ノ政府ガ支那事變來ルノ物資價ノ問題ニ付テ、色々ナ點ヲ考慮シテ、配慮ヲ致シテ來タコトガ、大キナ今日效果ヲ示シテ居ルト思フデアリマス、色々ナ關物資ニ付テノ御話モゴザイマシタガ、國民ノ生活ヲ致シマス先ヅ大體ノ物資價ガ、配給ニ依ツテ賄ハレルト云フコトデアアルノデアリマスレバ、其ノ中ノ特殊ノ物資ガ突飛ナ値ヲ以テ一部ニ賣ラレルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアアルト思フシ、又大シテ害ノナイコトデアアルト思フデアリマス、只今アナタノ仰セニナリマシタコトハ、「ウイスキー」ノヤウナモノハ、サウ生活ニ必要ナモノデモアリマセヌシ、又國民ガ全般的ニ用ヒルモノデモアリマセヌカラ、ソレガ百圓ニ賣ラレヤウト百五十圓ニ賣ラレヤウト、勿論ソレハ宜イコトデアリマセヌ、闇相場デアリマスカラ宜イコトデアリマセヌガ、國民ノ銃後ニ於ケル生活ニハ大シタ關係ノナイ問題デアルト思フデアリマス、併シナガラ矢張り米デアリマス、鹽デアリマス、又其他生活ノ必需ノ物資價ガ大體配給デ生活シテ行カレナイ、闇デア買ハナレバヤツテ行カレナイ、其ノ方ガ餘計ノ分子ヲ占メテ居ルト云フコトハ、斯様ナコトハ勿論感心シタコトデアリマセヌ、物資價問題ハ先程モ申シマシタ通り、一面ニ於テ「インフレ」問題デアリマス、支那事變以來政府ハ此ノ問題ニ付テ相當色々ナ施策ヲ講ジテ今日迄來テ居ルノデアリマスガ、此ノ最近ノ色々各般ノ事情

ニ應ジマシテ、今一層力ヲ此ノ點ニ致ス必要ガアルト考ヘラレルノデアリマスカラ、先般內閣總理大臣ヲ會長ニ致シマス物資價審議會ヲ內閣ニ設置シ、サウシテ綜合計畫局ノ一部ニ、相當ナナル規模ノ下ニ此ノ物資價デアリマスカ、名前ハ何ト申シマスカ此ノ物資價問題ヲ扱フ所ノ事務局ヲ置キマシテ、サウシテ此ノ各省ニ互リマズ資金ノ方面カラシテ、又物ノ方面カラシテ、勞務ノ資金ノ問題カラシテ、又運賃ノ問題カラシテ、此ノ各方面ノ問題ヲ綜合的ニ之ヲヤル、サウシテソレニ依ツテ此ノ物資價問題ト云フモノヲ考究シ、又實行シテ行ク所ノ強力ナル機關ヲ設置致サウト思ツテ、目下其ノ設立中デアリマス、貴族院方面ハ勿論ノコト、衆議院方面カラモ此ノ問題ニ付テハ意見ノ提出ガアリマス、又東京商工會議所、大阪商工會議所其ノ他各方面カラシテ、色々ナ御意見ノ出テ居リマスコトモ承知致シテ居リマス、大體ニ於テ御尤モナ御意見デアアルノデアリマシテ、物資價問題ニ付テハ、此ノ段階ニ於キマスレバ、今ヨリモ更ニ一層政府トシテモ力ヲ入レテ、其ノ施策ヲ實行致シテ行ク必要ノアリマスコトニ付テハ、アナタノ仰シヤル通り全ク御同感デアリマス、併シナガラ御心配ニ相成ルコトハ御尤モデアリマシテ、又將來ノコトハ早キニ於テ手ヲ打ツ必要ノアリマスコトモ勿論デアリマスガ、併シナガラ今日ノ狀況ヲ以テ直チニ心配デ、必ラズ其處ニ行クト、惡性「インフレ」ノ狀態ニ陥ルトハ私ハ判斷シテ居リマセヌ、大丈夫デアリマス

○內田重成君 一應承リマシタガ、私ハ物資價審議會ノコトヲ承知セヌコトハナイノデアリマスガ、物資價審議會ノ權限デハ、私ノ只今申上ガタ趣旨ニハ全ク達シタイト云フ考ヘデアリマス、モウ少シ廣イ、關係各省ヲ統合シタ「インフレ」防止對策會ト云フ特別ナモノガアツテ欲シイト云フ希望ノ下ニ申上ゲルノデ、是ハ生産ノ部面ニモ消費ノ部面ニモ、其他金融方面ニモ、色々ナ方面ニ關聯スルモノデアルト云フコトハ、貴族院ノ調査會ノ對策委員會ニ於テ作ラレタ文書ニ依リマシテモ分ルノデアリマシテ、物資價審議會ノ審議ノ範圍内ニハ止マラナイ、モウ少シ廣イモノデアルト云フコトヲ感ズルノデアリマス、從ツテ其ノ委員會ニハ、民間學者又ハ團體等ノ意見モ十二分ニ取入ラレルコトモ必要デアアル、第一ニ財政當局ノ御意見ガ主ナルモノデアリマセウガ、其ノ他ノ各省ヲ連絡シテ、各省ヲシテ、其ノ意見ヲ直接ニ實行セシムル程ノ權力ヲ持タサナケレバナラヌモノデアルト思フ、殊ニ此ノ事情ニ付テ、所謂民生ノ實情ニ付キマシテハ、此ノ審議會ナルモノガ、矢張り直接ニ審查スルコトノ必要ヲ感ズルノデアリマス、ト云フモノハ、只今御話ノ中ニモ、家庭的ニ於キマシテ米トカ野菜トカ、其ノ他生活必需品ノ配給ガ、配給量ニ於テ足リルカ足リナイカト云フヤウナコトノ關係上、其處ニ生活必需品ニ付キマシテモ、闇取引等ガ相當ニ行ハル、ト云フコトガ實情デアルト云フコトヲ考ヘマス時ニ、例ヘバ木炭ノ如キ、現今最も多ク行ハレテ居ル實情デアアル、是ハ金デ取引ヲシナクテモノ々交換ヲスルト云フヤウナコト等ガ屢、行ハレテ居ル、殆ドヤツテ居ルダラウト思フ、サウ云フ實情ノ調査モシナケレバナラヌコトダラウト思フデアリマス、唯單

純ニ物價ダケノ問題ヲ解決ガ出來ナイモノヲラウト私ハ思フテ居ル、是ハドウシテモ綜合性ノ機構ガ欲シイモノデアルト云フコトヲ希望スル、其處ヘ行ケバ、如何ナル「インフレーション」對策ガ出來テ居リマスカト云フコトヲ聽ケバ、直チニ是ダケノ調査ヲシテ、是ダケノ考ヲ今實行シテ居ルト云フコトヲ承ルコトモ出來ルデアリマセウガ、物價對策委員會ヘ行ツテ左様ナコトヲ聽イタ處デ、ソレハ何處ヘ行ケ此處ヘ行ケデ、決シテ分リハシナイ、ソレデ私ハ今日一番何ガ大切デアルカト云フ、「インフレーション」防止對策ガ一番大切ダト思フ、現在ニ於テ一番ソレガ最先ノ急務ダト考ヘテ居リマス、是ナクシテ戰爭ノ完遂ハ出來ナイト迄私ハ感ズル、國內生活ノ秩序ガ紊レタナラバ、決シテ戰爭ノ完遂ハ出來ヤシナイト云フ迄ニ極論スルコトガ出來ルト思フ、玆ニ自ラ厭戰氣分モ生ズル、國民ノ意氣ノ衰頹ト云フコトヲ先程申上ダタガ、ソレハ矢張り厭戰氣分ノコトヲ言フ、是ガ必ズ生ズル、ソレハ何ニ依ツテ生ズルカト云フト、多クハ極メテ正當ナル生活スル中産階級ニ於テ起ル、此ノ中産階級ガ現在ノ日本ノ中堅ヲ成ス、其ノ中産階級ガ聞取リヲスル譯ニハ行カナイ、ダカラ左様ナコトハセズニ、政府ノ仰セノ通りデ生活ヲシテ行クコト云フ場合ニ、是ガ今ノヤウナ状態デアレバ、ドウシテモ其處ニ非常ナ苦シイ立場ヲ生ズルカラ、從ツテ玆ニ自ラ厭戰氣分ト云フモノヲ生ズルヤウニナルト云フコトハ已ムヲ得ザル場合モアラウト思ハル、ノデアリマス、左様ナ日本人ハ一人モナイと言フテ強ガリヲ言ハナケレバナリマセウガ、蓋シサウ迄ハ行カナイト思フノデアリマ

ス、ソレデ遂ニ今日ノ状況カラスレバ、中産階級ノ没落ヲ招致スル結果ニ遠カラズ至ルト云フコトヲ憂慮スル、今ノ中産階級ト稱スルモノハ、古ヘノ上流階級デ、昔ノ中産階級ハ今ハ没落シテ下流ニナツテ居ル、元ノ上流ガ今ノ中産デアル、ソレ等ガ没落シタト云フ時ニ、日本ノ中堅階級ト云フモノハ何處ニ在ルカト云フ恐レベキ結果ニナル、是ハ唯單純ニ考ヘラレナイ問題デアルト思フ、政府ニ於テ、物價政策ニ付キマシテ御盡力ニ相成ツテ居ルコトハ、之ヲ極メテ多ト致シマスガ、私ノ求メル所ノモノ、御伺ヒ致シタイ所ハ、各省ヲ通ジテ、就中關係アル所ノ生産、配給、消費、物價其ノ他財政諸般ノ問題ニ付キマシテ、關係アル當局ガ聯合サレテ、一ツノ大キナ對策ヲ樹立サレルコトガ極メテ急務デアルト云フコトノ感ジアル、其ノ點ニ付キマシテ、私ハ今日ノ状態ハ最早違法精神ダト云フヤウナ精神ハ殆ド無クナツテシマツテ、法律ガドウノ斯ウノト云フヤウナ問題ハモウ無クナツテ居ルノデハナイカ、統制會ガ何ノト云フヤウナ感ジハ一ツモナイ、サウ云フ恐ルベキ状態ニナツテ居ル、元來法治國ト云フ日本ノ國柄、今デハ法治國デハナイ、所謂法律ハアルケレドモ、一向分ラヌ、統制法規ノ如キモノモ何處ヘドウ云フコトガ書イテアルヤラ一向分ラヌト云フヤウナ状態デアアルデアリマスカラ、是ハ餘程ムヅカシイ問題デハゴザイマセウガ、政府デ一ツ「インフレーション」防止對策ト云フコトノ特別ナル御詮議ヲ、綜合的ニ一貫的ニ願フ譯ニハ行クマイカト云フコトヲ伺ヒタイ

○國務大臣(石渡莊太郎) 物價審議會ト云フノハ、或ハ物價ト云フ字ガ多ク少狭イ意味ニ解釋ニナツテ居ルカモ知レマセウガ、只今アナタノ仰シヤツタヤウナ、左様ナ綜合的ナ廣イ意味ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、通貨ノ問題ハ勿論ノコト、生産ノ問題、配給ノ問題、資金ノ問題、運賃ノ問題、今日ノ物價ト云フモノハ、左様ナ各般ノ方面カラ考ヘナケレバイカヌデアリマスカラ、從ヒマシテ唯物價ト云フコトデ、物ノ方面カラ來ルコトダケヲ考ヘテ此ノ審議會ヲ作ラウト致シテ居ル譯デハゴザイマセウ、物價ノ文字ヲ、アナタノ御説デ、「インフレーション」防止委員會ニシタラドウカ、斯ウ云フ御話デアリマス、何カヨイ名前ガアレバソレモ宜イカモ知レマセウガ、第一「インフレーション」云フ言葉ハ、是ハ英語ノ、ソレモ頭ヲチヨソ切ツタ譯デアリマシテ、「インフレーション」防止對策委員會ト云フヤウナ譯ニモ行キマス、政府デモ何カ「インフレーション」防止對策ト云フヤウナ意味ヲ含マセバト云フコトデ色々考ヘタリマセウガ、物價審議會ト云フ、其ノ物價ト云フ意味ニ於テ、今日ノ物價ト云フノハ、是ハ世ノ中デ言ツテ居リマス「インフレーション」防止ト云フコトヲ今日主眼ニシテ考ヘネバイカヌ、斯様ニ考ヘマシタコトハ、ソレハアナタガ今御述ニナツタノ同ジヤウナ考ヘ方ヲ致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ審議會ニ於テ、各般ノ事情ヲ綜合的ニ考ヘテ、統後ニ於ケル經濟秩序ノ維持ニ遺憾ナカラシメムト致シテ居ル次第デアリマス、決シテ狭イ意味ノ物價ト云フコトニ限ツテ居ル譯デハゴザイマセウ、左様ニ御了承ヲ戴キタイト存ジマス

○内田重成君 御蔭デ大分分リマシタデハ、是カラ物價審議會ヲ以テ「インフレーション」防止對策委員會ト云フコトニ私ハ考ヘマシテ、爾後、物價委員會ニ向ツテ是カラ其ノ對策ヲ承ルコトニ致シマス、其ノ「インフレーション」對策問題ニ付キマシテハ是デ止メマスルガ、モウ一點大臣ノ御伺ヒタイノデアリマス、先程チヨソ觸レマシタガ、我が國ノ現在ノ中産階級維持ノ問題デアリマス、先程申上ゲル通り、今ノ所謂中産階級ト云フモノハ古ヘノ上流階級ダラウト思フノデアリマス、ソレガ中産トカ下産トカ云フコトハ分リマセウガ、要スルニ經濟のカラ見た階級デアリマスルガ、從來ノ日本ノ中堅ヲ成シテ居ツタ中産階級ト云フモノハ、只今ハ段々没落ヲシテ參ツテ居ルノデアリマス、併シ是ガ總テノ點ニ於ケマシテ中堅ヲ成シテ居ル、思想其ノ他ニ於ケマシテハ中堅ヲ成シテ居ルコトデアルト考ヘルノデアリマス、其ノ維持ノ爲ニ、財政ノ處置ノ上ニ於ケマシテ、何等カノ特別ノ設ケル必要ガアル、チヨソト突飛ニ考ヘマスルガ、詰リ稅法ノ上ニ於ケマシテモ、例ヘバサウ云フ俸給生活者等ノ勤勞所得ト云フモノハ、今日ヨリハ減額ヲスル、今日以上ニ上セザルハ勿論、寧ロ之ヲ減額ヲスルト云フコトニスベキデハナイデアラウカ、多クハ勤勞所得ニ依ツテ生活スル者ガ中堅階級ト見テ宜カラウト思フノデアリマスルガ、其ノ所得ニ付キマシテハ、現行法ヨリ之ヲ低減スルト云フ位ノ難量ガアツテモ宜キモノデヤナカラウカ、玆ニ自ラ中堅階級保護ノ、又中堅階級維持ノ國家方針ガ現レル譯デヤナカラウカ、當ニ其ノ稅率ノ低減バカリデハナイ、其ノ他ニ於ケマシテ、所得稅法以外ノ處置ニ於ケマシテ

モ、色々經濟面ノ救済ト云ウテハオカシウゴザイマスガ、經濟面ニ付テ考慮スル點ガアルベキデハナカラウカ、是ハ國家ノ大局カラ考ヘテ、中産階級ト云フモノガ如何ニ國家ノ國力ノ中堅ヲ成スモノデアアルカト云フコトヲ考ヘル場合ニ、ソレハ決シテ不公平ナルヤリ方デハナイ、相當ノ面目ヲ保チ、相當ノ權威ヲ保チ、而シテ智能ノ方面、人格ノ方面カラ國家ノ爲ニ貢獻ヲシナケレバナラヌ人間ガ、一般ノ無教育者ト云フチヤオカシイデセウガ、普通ノソレ以下ノ人ヨリカ、經濟面ニ非常ナ窮苦ナ地位ニ居ルト云フコトハ宜シクナイ、サウ云フ大局的ノ見地カラ、モウ少シ稅制等ニ付キマシテモ考慮スベキ餘地ガアルモノデヤナカラウカト云フヤウナ感ジハ私ハ昔カラ持ツテ居ル、丁度此ノ機會ニサウ云フコトヲ一ツ申上ゲテ見タイト思フ、是ハ今日ノ問題デハナイト考ヘテ御尋ネスル

○國務大臣(石渡莊太郎) 中産階級ト云フモノハ、是ハマア、色々考ノ仕方モアリマスガ、國ノ中堅デアアル、中産階級デアリマスカラ、一方ニ於テハ多少ノ資産ヲ持ツテ居ル、一方ニ於テハ本人ニ働キガアル、勤勞ト、一方ニ於テ多少ノ資産ト、是ガ中産階級ト云フコトデアルト思フノデアリマス、ソレデ只今内田サンノ仰シヤツタ上流階級ガ今日中産階級ニ相成ツテ居ル、左様ナ者モゴザイマセウガ、ズツト中産階級ノ體來テ居ル者モゴザイマセウ、又財ヲ持ツテ居ナイ所謂勞務階級カラ此ノ中産階級ニ上ツテ來タ者、即チ働イテ金ヲ溜メテ、財産ヲ持ツテ、サウシテ一方ニハ財産ヲ持チ一方ニ於テハ本人ニ働ガアル、斯ウ云フ中産階級ニ

思フノデアリマス、私ノ記憶致シテ居ル所デハ、嘗テ「ドイツ」ノ營業稅法ニ於キマシテ、此ノ中產階級ヲ保護スル規定ヲ持ツテ居ツタコトガゴザイマス、又酒ノ稅、「ドイツ」ノコトデスカラ「ビール」デアリマスガ、其ノ「ビール」ニ付テ中產階級ヲ保護スルニ非ズヤト思ハレルヤウナ條文ヲ持ツテ居ツタコトモゴザイマス、ガ、今日ハ既ニ左様ナ條文ハ、恐ラクハ現行法デアリマスマイ、嘗テ左様ナコトヲヤツテ居ツタ、「デパートメント・ストア」ト云フヤウナモノガ非常ニ流行ツテ來テ、中小商業者ヲ非常ニ壓迫スルト云フヤウナ意味合カラ致シマシテ、「デパートメント・ストア」ニ非常ナ重稅ヲ賦課致スト云フヤウナコトヲヤツテ居ツタコトモゴザイマス、併シナガラ中產階級ノ維持ト云フコトヲ稅法デ考究致シマスルコトハ、「ドイツ」デ左様ナコトヲヤツタコトガゴザイマスガ、ソレニシテモ非常ニムヅカシイコトデアツテ、中產階級ト云フモノヲドウシテ維持シ、ドウシテ保護シテ行クカト云フコトハ、是ハ稅法以外ニ別途考究致サルベキ問題デアルト存ズルノデアリマス、唯前々カラ御考ニナツテ居ラレタ左様な御考ヲ、此ノ際内田委員ノ仰セニ相

成ルコトハ、要スルニ此ノ戰爭ニ當リマシテ、大キナ産業ニ軍需工業等ガ集中致サレル、サウシテ此ノ中小工業、又中小商業ト云フモノガ、ソレニ統合致サレテ無クナツテ行クト云フヤウナ點カラ御心配ニ相成ツテ居ルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、左様ナ點ハ一面カラ考ヘマスレバ、左様ナ事實ハ確カニアルト存ジマス、ソレハ一面ニ於キマシテハ、勞務勤勞ト言ヒマスカ、兎ニ角自分ハ工場ヘ行ツテ働ク、左様ナ人が非常ニ殖エテ來ルト云フコトニ相成ツテ來テ居ル、ソレモ事實デアルト思フノデアリマス、併シナガラ是ハ今日ノ場合ニ於キマシテハ、戰爭ニ勝ツガ爲ニハ、又軍需生産ノ増大ヲ期スルガ爲ニハ、已ムヲ得ズ執レタ所ノ一ツノ政策デアアルノデアリマシテ、左様ナ結果ガ今日現レテ居ルト思フノデアリマスガ、併シナガラ今後ニ於キマシテ私ハ矢張り此ノ中産階級中堅階級ト云フモノヲ、國ト致シマシテハ色々ナ施策カラ致シマシテ、十分ノヲ維持シ保護致シテ行ク必要ノアルコトヲ別途ノ見地カラ致シマシテ、アナタノ仰セノアルヤウニ、左様ナ方向ニ、是ハ餘程考ヘテ行クベキ問題デアルト存ジテ居リマス

○澤田牛雲君 關聯シテ申上ゲタイト思ヒマスガ

○内田重成君 私ハ大臣ヘノ御尋ハ是テ濟ミマシタ、ソレカラ政府委員ノ方ニ御尋ガ移リマスガ

○委員長 伯爵林博太郎君 澤田君ニ御許シテ宜シウゴザイマスカ

○内田重成君 宜シウゴザイマス

○澤田牛雲君 内田委員ノ御質問ニ關聯シテ居リマスカラ、私カラモチヨツト申上ゲタイト思ヒマス、只今ノ内田

委員ノ御尋ニナツタコトハ、誠ニ困惑
デアリマス、ソレハ昨日私ハ餘リ詳シ
ク申上ゲマセヌデシタガ、此ノ點ハ増
税金ノ各論ニ入ルヤウナ氣味ガアリマ
シタノデ詳シク申上ゲマセヌデシタ
ガ、後味ガ惡イト云フ意味ヲ申上ゲタ
コトハ、即チ内田委員ノ御意見ト殆同
様デアリマス、少シ餘計ナコトノヤウ
デスガ、中産階級ト云フ言葉ハチヨツ
ト語弊ガアルノデ、社會主義的ノ言葉
カラ言ヘバ最モ誤解ヲ來ス處ガアルト
思ヒマス、或ハ中小工業者ハ、「ブラ
ンス」革命以後ニ於テ社會主義ノ言葉
ニ使ハレテ居ルヤウデアリマス、私ハ
中産階級ト云フ言葉ヲ使ハズニ、中層
階級ト云フ言葉ヲ昨日申上ゲタノデア
リマス、此ノ中層階級ノ維持ト云フコ
トハ、是ハ各國トモ大事ナコトデア
ルト思ヒマスガ、殊ニ今日日本ニ於テ
ハ最モ大事ナコトデアルト思ヒマス、
今大藏大臣ノ御話ハ、趣意ハ贊成デア
ル、色々ノ方面カラ考ヘナケレバナ
ラヌ、ソレデ此ノ儘デハ何トモ仕樣ガ
ナナイト云フ御話デアリマシタガ、税
法ニ於テモ、此ノ今ノ大藏大臣ノ御意
見ト我々ノ意見ト略一致シテ居ルト
云フコトデアレバ、税法ニ於テモ之ヲ
考ヘル餘地ガアルデアラウト私ハ想
像スルノデアリマス、詰リ昨日質問
申上ゲタコトノ再說ニナリマスガ、増
税ヲ從前ノ儘ニ率ヲ殖ヤスト云フデ
ケノヤリ方デズトヤツテ行クト云フ
コトニナリマス、丁度今内田委員ノ
言ハレタヤウナ憂慮ニ堪ヘヌ狀態ニ
ナルト思フ、此ノ所得税ノ税法ノ中
デ、或ハ遊興飲食税トカ云フモノハ
是ハ又別デアリマスガ、分類所得税
ノ勤勞者ニ對スル増率ト云フヤウナ
コトハ、是ハ餘程考ヘテ行カナケ
レバナラヌト云フ風ニ思ヒ

マス、一律ニ何ハ何分、何ハ何分トズツト行ツテ居ルト云フコトハ、是ハ成ル程秩序のナ見方デハアリマセウケレドモ、併シ是ハ區別シテ考ヘル必要ガアラウト思ヒマス、例ヘバ入場税ノ税率ガ五十ガ百ニナツテモ、百ガ百五十ニナツテモ、ソレハサウ大シタ問題デハナイ、此ノ點ハ私ハ餘リ意見ハアリマセヌガ、勤勞所得者ニ對スル分類所得税ノ何割増シト云フヤウナリ方ハ、是ハ餘程考慮ヲ要スルコトデハナナカト思フノデス、是、詳シイコトハナリデ、是以上絮説スル必要ハナト思ヒマスガ、税法ノ上ニ於テモ、此ノ中層階級ノ維持ト云フコトニ付テ考慮ヲ廻ラス餘地ガ十分アルト思ヒマス、此ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡鑑太郎君) ドウモ是ハ所得税ニ於キマシテ、先ツ此ノ人ハハ上層階級、此ノ人ハ中層階級、此ノ人ハ下層階級、斯ウ云フコトデ區別シテ、此處デ同ジ一千圓ダケナラ一千圓ト云フモノヲ其ノ人ノ階級ニ應ジテ税率ヲ變ヘルト云フヤウナコトハ、是ハナカノムヅカシイト思フノデアリマス、從ツテ此ノ所得税ニ於テ、所謂中層階級ト云フモノヲ保護シ行クト云フ政策ヲ執ツテ行クコトハソレハ困難デアリ、斯ウ申上ゲテ居ル次第デアルノデアリマス、併シナガラ例ヘバ三千圓、五千圓ト云フ所ノ收入ノアル人ニ、餘リ強ク當ラナイデ、其ノ中ニハ、或ハ先程カラ御説ノアルヤウニ近時新興所得階級ノ者モアルカモ知レヌ、新興所得階級ノ者モアルカモ知レヌ、新興所得階級ノ者モアルカモ知レヌ、此ノ新興階級ノ中カラ更ニ中層階級ニ上ツテ行ク者モアル

カモ分ヲヌノデアリマス、斯様ナ所得ノアル階級ニカケル税率、即チ普通ノ所得ノアル人ヨリ幾ラカ多イト云フヤウナ新興階級ノ所得ニ付テ、相當税率ヲ變ヘテ行クコトヲ考ヘルト云フコトモ、是ハ可能デアラウト思フノデアリマス、併シナガラ其ノ人ノ身分或ハ地位等ヲ考ヘマシテ、サウシテソレニ對シマシテ税率ヲ變ヘテ行クト云フヤウナコトハ、是ハ事實ニ於テ困難ナコトデアルマイカト考ヘテ居リマス

○澤田半雪君 只今ノ御意見ハ、能ク頭ニ入りマセヌデシタガ、殊ニ倖給生活者ニ對シテハ、是迄モ決シテ輕イ稅ヲ課シテ居ツタトハ云ヘナイト思ヒマスルガ、今度御上デニナルニ付テ、一律ニ斯ウ云フ者ニ對シテモ何割何分ト云フモノガ上ツテ行ク、是ハ私ハドウモ其ノ趣旨ニハ餘リ贊成出來ナイノデハナイカト思ヒマス、今迄所謂新興階級ニ入ツテ居ル人ガ、新タニ中層階級ニ入ツテ來タト云フ場合、サウ云フ場合ノ人ニ付テハ餘リ考慮ヲ要スル問題デナイノデハナイカト思ヒマス、寧ロ端的ニ言ヘバ、倖給生活者ノ如キ、從前カラ地位ナリ身分ナリノ點カラ申シテ、餘リ收入ハ殖エテ居ラヌ、然ルニ近時段々諸般ノ物價ガ高クナルシ、今迄モ窮屈デアツタノニ、色々公債モ買ハナレバナラヌト云フ譯デスカラ、ソレニ一律ニ、他ノ稅法トノ鈞合上此ノ方モ増スト云フコトニナツテ來ルト、同じ割合デ増サレテモ、壓力ガ非常ニ強イト云フコトヲ、此ノ階級ノ人ハ新ニコ感ズルノデハナイカト思ヒマス、新興階級ノ人ガ中層階級ニ入ツテ來テ、ソレガドウ斯ウト云フコトハ姑ク別問題トシマシテ、從前ノ收入ノ殖エナイ階級ノ人達ニ對シテハ、今度ノ改正ハ非常ニ重

壓ラ感ズルノデハナイカト感ズルノ
デ、特ニ保護法ト云フヤウナコトハナイ
ニシテモ、税ノ上デ餘リ重壓ラ感ズサ
セナイヤウナ御處置ヲ御執リニナルコ
トハ出來ナイノデアアルカ、サウ云フ點
ニ付テノ疑問ヲ持ツテ居リマス

○國務大臣(石渡莊太郎) 是ハ個人

個人ノ場合ニ於キマシテハ、今澤田委
員ノ言ハレマシタヤウナ事情ハ私ハア
ルト思フノデアアリマス、併シナガラ何
レニ致シマシテモ、今日ノ税率ハ相當
高クナツテ來テ居ルノデアアリマスルカ
ラシテ、今アナタノ仰セノアツタ條給
生活者ガ殖エナイ者ニ付テ、ドウモ殖
エタ者ト同ジヤウニ課税サレタシヤ
困ルンデヤナイカ、サウ云フ御感ジ
ハ、同時ニ資産ヲ持ツテ居リマス者デ
モ、資産所得ト云フモノデアリマシテ
モ、サツバリ殖エナイ、昭和十二年、
支那事變ノ始リマシタ當時ニ於テ五千
圓ノ自分ハ、收入ダツタ、其ノ五千圓
ハサツバリ殖エヌノダ、或ハ金利等ガ
低下シテ居ルカラ、更ニ減ツテ居ルノ
ニドウモ租税ガ來ルノデ困ルト、斯ウ
云フ感ジヲ致ス者モアルカト思フノデ
アリマス、デ、アナタノ仰シヤルコト
ヲ突キ詰メテ行キマスレバ、即チ所得
ノ増加シツ、アル者ト、所得ノ増加シ
ナイ者ト、ソレカラ又アナタハ左様ナ
コトハ仰シヤラレナイケレドモ、アナ
タノ觀念ヲ以テスレバ所得ノ減ジツ、
アル者ト、此ノ三階級ニ付テ税率ヲ區
分シテ課税スル方ガ合理的デアアルマ
イカト、斯様ナ御考デアアルヤウニ承知
ヲ致スノデアアリマス、戰爭ノ結果ニ依
ツテ所得ノ増加致シタ者ハ、是ハ戰時
利得税ニ依ツテ課税ヲ致スト云フコト
ガ常則ニ相成ツテ居ル次第デアリマ
ス、ソレデ我ガ國ニ於キマシテモ支那

事變ノ起ル前カラ致シマシテ臨時利得
税ト云フモノヲ設ケマシテ、此ノ臨時
ニ收入ノ増加致シタ者ニ課税ヲ致スト
云フコトニ致シテ居ルノデアアリマス、
此ノ收入ノ戰爭前カラ増加ヲ致シタ者
ニ對シテ課税スルコト云フコトハ、從
來ハ左様ナ課税ノ仕方ト云フモノハゴ
ザイマセヌデシタケレドモ、此ノ前ノ
「ヨロツバ」戰爭ノ場合ニハ「オラン
ダ」ガ直チニ之ヲ實行シマシテ、各國
ハ皆ソレハ非常ニ良イ税金デアルト云
フノデ、何レモ之ヲ實行シ、日本ニ於
テモ亦此ノ前ノ「ヨロツバ」大戰ニ於
テ實行致シタノデアアリマス、此ノ實行
ノ致シ方ガ色々アリマス、「ドイツ」ガ
此ノ前ノ戰爭ニ於テ實行致シマシタノ
ハ、總テノ所得ニ對シテ實行致シタノ
デアアリマスガ、其ノ他ノ國ニ於テ實行
致シマシタノハ、大抵營業所得ダケニ
限ツテ居ルノデアアリマス、是ガ一番ニ
儲カルカラト云フノデ、會社、個人ノ
營業シタ所得ニ戰時利得税ヲ課税致シ
タ、是デ大體目的ヲ達スルト云フコト
デ、左様ナコトヲ致シテ來テ居ルノデ
アリマス、會社ガ戰時利得税ヲ餘計納
メルヤウニナレバ自然重役デアルトカ
何トカ云フ者ニ對シテ、サウ濫費モシ
マイト、斯ウ云フ見地カラ出テ居ルト
思フノデアアリマス、此ノ前日本デ大正
七八年ニ實行致シマシタ戰時利得税
ハ、今實行致シテ居リマス個人ノ臨時
利得税カラ考ヘマシレバ、今少シ廣
範圍ニ課税シテ居リマシタ、即チ農業
者等モ之ニ含メテ課税致シテ居ツタト
思フノデアアリマスガ、今回ノ戰時利得
税ニ相當致シマス税金ハ、個人ノ分
モ、營業者其ノ他法人ダケニ課税ヲ致
シテ來テ居ルノデアアリマス、之ヲ俸給
其ノ他全般ニ所得ノ殖エタ者ニ付テ、特

別ニ戰時利得税ヲカケルカドウカト云
フコトハ、是ハ餘程考慮致スベキ問題
ガアルト思フノデアアリマシテ、今度ノ
戰爭ニ當リマシテハ、大抵此ノ營業ダ
ケニ戰時ノ利得税ヲ課税致シテ居ルノ
デアアリマスガ、之ヲ擴張致シマスニ
モ、色々ナ問題ガアルト思フノデアアリ
マスガ、今ノ處ソレヲ實行致ス考ハゴ
ザイマセヌ、サウ致シマスレバドウ致
シマシテモ、今日受ケテ居ル所ノ所得
ガ同ジ所得デアラウトモ、減ツテ來ル
所得デアラウトモ、矢張り同ジ税率デ課税ヲ
アラウトモ、矢張り同ジ税率デ課税ヲ
致シ、是ガ所得税ノ税率ノ引上、斯ウ
云フコトニ相成ツテ來ルノデアアリマシ
テ、アナタノ仰セノデアアリマシタコト
ハ、要スルニ普通ノ所得税ノ税率ノ引
上ヲ止メテ、戰時所得増加税ニシロ、
斯ウ云フ御注文ニ該當致シテ來ルノデ
ハナカラウカト存ジテ居ル次第デアリ
マス

○政府委員(田中豐孝) 勤務階級ノ分

類所得税ノ税率ノ問題デアリマスガ、
現在分類所得税ノ勤務所得トシテ課税
致シテ居リマス分ガ、非常ニ廣範圍ニ
互リマシテ、延人員ハ千萬人以上、此
ノ中デ相當部分ガ工場勤務者デ、唯單
ナル會社等ノ社員ト云フヤウナ者デナ
クシテ、六割程度ハ工場勤務者ニ該當
スルト思フノデアアリマシテ、此ノ中ニ
ハ所謂新興所得階級ト言ハレハヤウナ
者モ入ツテ居ルカト思フノデアアリマ
スガ、サウ云ツタヤウナモノヲ含メマシ
テ、勤務所得ノ税率ヲ分類所得税ニ於
テ三「パーセント」引上ゲル、斯ウ云フ
コトノ案ニナツテ居ルヤウナ譯デアリ
マス、尙此ノ三「パーセント」引上ゲマ
シタ結果、負擔ガドノ位増加スルカト
云フヤウナ點ヲ考ヘマスト云フト、妻

ト子二人ト云フヤウナ家庭ノ狀況ニ於
キマシテ、所得ガ二千圓アリマス者ハ
四十二圓、年額ニ於テ四十二圓ノ負擔
増加デアリマス、源泉課税ヲ以テマシ
テ月々收入カラ取ツテ居リマスノデ、
月ニ差引カレマス金額ノ増加ト云フモ
ノハ三圓五十錢、二千圓ノ所得階級デ
月三圓五十錢ノ負擔、同ジク三千圓ノ
所得階級ニ於キマシテ年額七十二圓、
月六圓デゴザイマス、五千圓ノ所得階
級デ百三十二圓、月十一圓、勿論是等
ノ所得ハ賞與等ヲ總テ含メテ居ツテ、
賞與等ヲ賞ヒマシタ場合ニ源泉課税ガ
多クナルト云フヤウナ恰好ニナリマス
カラ、毎月はダケノ税金ヲ、控除サレ
ル金額ガ増加サレル譯デアナイガ、平
均致シマシテ二千圓階級デ三圓五十
錢、三千圓階級デ六圓、此ノ程度ノ負
擔増加デアリマス、皆一律ニ軒並ニ上
ゲテ、何等目標ノ考慮ナク引上ラシタ
ト云フコトデアアリマセヌ、戰時下ニ
此ノ程度ノ負擔増加ハ已ムヲ得ナイト
云フモノヲ檢討致シマシタヤウナ次第
デアリマス

○澤田牛憲君 是以上ハ議論ニナリマ

スカラ、大抵ニシテ止メマスケレド
モ、序ニチヨツト少シ範圍外ニ互ルカ
モ知レマセヌガ、御伺ヒシタイト思フ
ノハ、外ノ會社ヤ何カ、官吏モ同ジク
俸給生活者デアリマスガ、會社ヤ何カ
ハソレトハ矢張り適切ノコトヲヤツテ
居ルヤウニ思ハレハナイデアリマス、官
吏出身デアアルカラ、何カ昔ノコトヲ申
上ゲテ少シ蟲腹スルヤウニ思ハレハカモ
知レマセヌガ、官吏ガ最モ中等階級ノ
中デ、特ニ堅實ナ階級ト私ハ思フノデ
アリマス、サウ云フモノニ對スル國家
ノ處置ハ、税法ノ方ハ別問題ト致シマ
シテ、序ニ伺ヒタイノハ、所謂増俸ト

カ増給トカ、何カ別ノ救済手段ト云フ
ヤウナモノヲ御考ニナツテ居リマセウ
カ、其ノ點ヲ若シ御差支ナケレバ、チ
ヨツト伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎) 官吏ノ給

與ニ付キマシテハ、支那事變來、殊ニ最
近三二年間決シテ私ハ樂ダト存ジマセ
ヌガ、相當給與ノ改善ヲ致シツ、アリマ
ス、昨年ニ於キマシテ、御承知ノ通り
勤續手当ヲ支出スルコトニ致シタノデ
アリマス、尤モ官吏全體デアアリマセ
ヌ、月給百五十圓以下ノ人ニ對シマシ
テハ勤續手当ヲ支給スルコトニ致シタ
次第デアリマス、又同ジク月俸百五十
圓以下ノ人達ニ對シマシテ、大都市其
ノ他ノ都市、ソレカラ全國一般ニ對シ
マシテ賞與ノ増額ヲ致シタヤウナ次第
デアリマシテ、其ノ必要ナル金額ハ豫
算ニ御要求ヲ致シテ居ル次第デアリ
マス、左様 ドウゾ御了承ヲ戴キタイ
ト思ヒマス

○澤田牛憲君 今私ガ官吏ト申シマシ

タガ、是ハ公吏モ含メテノ意味デアリ
マス、ソレカラ御伺ヒシタイノハ官吏
増俸ノ御詮議ハアルノデアリマセウ
カ、御詮議ト云フノハオカシイガ、御
意思ハアルノデアリマセウカ、サウ云
フ點ニ付テ大藏大臣ノ御考ヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎) 昨年ノ臨

時議會ニ於キマシテ、總理大臣カラ貴族
院ノ豫算總會ノ質問ニ對シマシテ、下
級官吏ノ待遇何カ考ヘタラ宜カラウ
ト云フ御尋ガアリマシテ、政府ト致シ
マシテハ種々考究ノ結果、只今申シマ
シタヤウナ措置ヲ執ツタ次第デアリマ
ス、只今此ノ措置ヲ執リマシタ上ニ更
ニ増額ト云フコトハ今ノ所考ヘテ居リ
マセヌ

○竹下豐次君 簡單ニ今ノ御質問ニ關聯致シマシテ伺ヒタイと思ヒマス、只今内田議員澤田議員ノ御兩人カラ、中等階級ノ保護ノ問題ニ付キマシテ御意見ヲ述ベラレタノデアリマス、私モ其ノ點ハ同感デアリマス、大臣ノ御答辯ヲ承リマス、又稅方面カラナカナ困難ナ事情モ御アリダト云フヤウナ風ニモ伺ヒマス、其ノ問題ニ付テ更ニ御尋ネシヨウトハ考ヘマセヌガ、此ノ中等階級ノ困ツテ居ルコトハ、稅ノ負擔ガ重クナツテ居ルコト云フコトモ固ヨリ一ツノ理由デアリマス、レドモ、現在ノ處、ヨリ以上ニ困ラサレテ居ルモノハ、公債ノ買入レノ割當、貯蓄ノ割當ガ非常ニ多過ギルト云フコトノ方ガ、額ノ上ニ於テ非常ナ開キガアル譯デアリマス、餘程困ツテ居ルノデハナイカト思ツテ居リマス、現ニ私共ノ知ツテ居ル實例ニ於キマシテモ、中等階級ノ人デ貯蓄スル爲、公債ヲ買フ爲、借錢ヲシテヤツテ居ルコト云フ實例ハ幾ラモアルノデアリマス、相當ニ大キイ資産ヲ持ツテ居ル者デモ、或ハ不動産ヲ賣却シテ、サウシテ貯蓄ニ充テルト云フ事例モアリマス、是ハ大藏當局ニ於テモ既ニ御承知ノコトデアラウト思ヒマス、斯様ニシテ大變其ノ割當ガ多イ、サウシテ何ラ標準ニシテ割當テラカト云フコトヲ見マスト、是ハ各市町村ニ依リマシテ、ソレゾレ取扱方ガ違ツテ居ラウト思ヒマス、大體ニ於テ此ノ市町村民稅ガ標準ニナツテ、其ノ稅ノ多イ者ハ多ク貯蓄モ割當テラレト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマス、固ヨリ所得ヲ加味シマシテ、サウシテ割當額ヲ決メテ居ルノデアリマスケレドモ、幾ラ所得ガアルカト云フ部

面ヨリモ、從來古ク定メラレタ稅額ト云フヤウナモノニ、能ク重ク重點ヲ置キマシテ、サウシテ割當ガ來テ居ル、中等階級ト云フモノハドウカト云フト、從來見マスルト、所謂勤勞所得ヲ得テ居ル、例ヘバ馬車挽キデアルトカ、日傭勞働者ト云フヤウナ人ニ比ベテ稅ガ多イノデアリマス、ソレガ基礎ニナリマシテ今日此ノ貯蓄ノ割當ガアルト云フコトニナツテ、實際今日ノ收入ノ點カラ申シマスルト、逆ナ割當ガ多ク行ツテ居ルヤウデアル、其ノ考ヘ方ヲ逆ニシテ實ヒマシテ、所得ヲ中心ニシテ割當額ヲ決メルト云フヤウナコトニデモ指導サレマシタナラバ、中等階級ノ保護ト云フコトハ相當ノ效果ヲ擧ゲラレルノデヤナイカ、斯様ニ私ハ考ヘル譯デアリマス、是ハ地方ニ依ツテ色々事情モ違ヒマセウガ、大體私ノ見當ガ當ツテ居ルノデヤナイカと思ヒマス、其ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○國務大臣(石渡泰三郎君) 貯蓄ノ割當ハ、私モ多少ノ無理ガアルコトハ承知致シテ居リマス、出來ルだけ無理ノナイヤウニ行カネバナラヌノデアリマス、稅ト連ヒマシテ、稅ハ其ノ儘國ノ收入ニ相成ルノデアリマス、貯蓄ハ本人ノ財產トシテ遺ルノデアリマスカラ、多少ノ無理ガアツテモ、サウ稅程心配致スコトモナイと思ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ今アナタノ仰セニアリマスヤウナ財產ヲ賣ツテ公債ヲ買フトカ、左様ナコトヲ餘儀ナク致サレト云フコトニ付テハ、是ハ勿論非常ナ例外ノ場合デアツテ、又左様ナコトヲ致シテ居タノデハ、今日ノ國債ノ消化ト云フモノハ決シテ出來得ベキコトデアリマセヌ、ホンノ例外ノ

一例デアラウカト存ズルノデアリマス、又左様ナコトヲ政府ハ決シテ希望致シテ居ル譯デアリマセヌ、ソレデ割當ニ付キマシテハ、市民稅等ヲ標準ニ致シマスコトハ、是ハ一ツノ標準デアラウカト思フノデアリマシテ、マア小サナ都市アタリデハ、是ハオ互ニ懷口工合モ分ツテ居ルコトデアリマシ、市民稅モ又負擔ノ均衡ガ取レテ居ルコトト存ジマス、別ニ苦情ハ聞キマセヌガ、大キナ都市ニ至ル程ドウモオ互ノ懷口工合ガ能ク分ラナクナツテ來ルカラ、市民稅ヲ標準ニスルコトニ對シテナカ、苦情ガアルノデアリマス、今アナタノ仰セニナリマシタ所得ニ付テハ綜合所得稅ガ三千圓ヲ限界ニ致シテ居リマス、實ハ三千圓ニ達シナイ人ガ二千圓ノ所得デアルカ、三百圓ノ所得デアルカ、千圓ノ所得デアルカ、ソレガ今日ハ分リマセヌ、其ノ間ノモノガ分リマセヌカラ、自然三千圓以下ノモノハ皆一律ニ低イ市民稅ヲ納メテ居ル、斯ウ云フ結果ニ相成ツテ居ル所ガアルト思ヒマス、左様ナコトハ私ハ不適當ダと思ヒマス、其ノ三千圓以下ノモノガ一律ニ相成ツテ居アル、サウ云フ幣害ガアルカト思フノデアリマス、ソレデ、今回臨時資金調整法ヲ改正致シマシテ、其ノ十條ノ十三ニ、「國民貯蓄増強策ノ圓滑ナル運営ヲ圖ル爲メ都道府縣及市町村ニ國民貯蓄運籌委員會ヲ置クコトヲ得」斯ウ云フコトニ致シタイと思ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ國民貯蓄運籌委員會ト云フモノハ、要スルニ左様ナ割當ヲ適實ニ決定シテ行ク上ニ貢獻スル所アラシメタイと思ツテ居ルノデアリマス、ドウモ貯蓄ノ割當ト云フモノガ、公平ニ行キマセヌノデ、色々苦情ガゴザイ

マスノデ、一ツ斯様ナ委員會ヲ置イテ、其處デ色々苦情モ聴キ又割當ノイカヌ所ハ訂正シテ行ツタラドウダラウカ、斯様ニ考ヘマシテ、此ノ法律改正案ヲ實ハ提案致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、政府ト致シマシテモ、貯蓄ノ割當ノ公正ヲ期シマス爲ニハ、十分注意ヲ致シタイト存ジテ居リマス、只今モ主稅局長カラ申上ゲマシタ通り、今度ノ分類所得稅ノ增稅額ト云フモノハ、三千圓トカ五千圓トカ云フ所ニ於テハ極メテ少イ額デアルト思フノデアリマス、之ニ付所ノ貯蓄ノ割當ト云フモノハ、貯蓄ノ總額ガ昨年度四百十億デアリマシタモノガ六百億ニモ相成ラウカト云フノデアリマス、カラ、相當此ノ方面ニハキツク感ゼラレルト思ヒマス、十分注意致シタイト存ジマス

○委員(伯耆林傳太郎君) 休憩致シマシテ、午後一時一開會致シマス

午後零時二分休憩

午後一時九分開會

○委員(伯耆林傳太郎君) 開會致シマス、梅園子爵

○子爵梅園篤彦君 今朝、富籤制度ノ實施ニ付キマシテ、大藏大臣ニ御伺ヒ致シマシタ處、實施ヲスル、サウシテ其ノ内容トシテ、發行總額ハ六億圓ダト云フコトヲ伺ヒマシタ、其ノ六億圓ト云フ所ニ落著ケラレマシタコトニ付テハ、非常ナ御苦心ノアツタコトト存ジマス、又此ノ富籤制度ナルモノガ今回初メテ御實施ニナルコトデアリマスカラ、其ノ點カラ申シマシテモ非常ニ御苦心ニ相成ツタコトト思ヒマス、我々カラ申シマス多ク益、辯ズルデ、モツト其ノ發行總額ヲ多クシタ方ガ宜イ

ノデハナイカト云ツタヤウナ感シモ致シマス、六億圓ニ御決メニナリマシタ其ノ事情ト申シマス、其ノ理由ト申シマス、カニ付テ政府委員ノ御説明ヲ伺ヒタイと思ヒマス、モウ一ツ此ノ際ハ初メテ御實施ニナルコトデアリマスカラ、取敢ヘズ六億圓ト御決メニ相成ツタラウト思ヒマス、是ガ成績ガ宜ケレバ將來トシ、御增額ニナルト云フ御意見ガアリマス、カドウカ、念ノ爲此ノ點モ併セテ御伺ヒ致スト共ニ、福券ノ實殘リガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、福券ノ從來ノ經過ハドンナ風ニナツテ居リマス、併セテ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○政府委員(氏家武吉) 御答ヘ致シマス、富籤ノ發賣金額、富籤ト言ハズニ勝札ト云フ名前ヲ以テ賣出ス積リデアリマス、此ノ勝札ノ發賣金額ヲ大體六億圓ト見込ミマシタ、只今御話ノアリマシタ福券ノ實行キ狀況ナドカラ致シマシタ大體ノ見當ヲ附ケタノデアリマス、福券ノ方ハ最初五千萬圓ト致シマシテ、是ハ全部賣切レマシタ、第二回目ガ一億圓デアリマス、之ノ方ハ千六七百萬圓賣切ラウト思フノデアリマス、マダハツキリシタ數字ハ分ツテ居リマセヌ、ソレデ此ノ福券ニ付テ二回ノ經驗カラ致シマシテ、勝札モサウ多ク期待スルコトハ出來ナイ、先ヅ一億五千萬圓見當ナラバ、大體行ケルデヤナイカト云フノガ、是ハ實ハ之ヲ取扱フコトニナリマス、所ノ日本勸業銀行アタリトモ色々相談ヲシテ見マシテ、無理ヲゼズニ賣ルト云フコトニナレバ、マア大體コソナ所ガ止リデヤナイカト云フ見込カラ致シマシテ、一回ノ發賣金額ヲ一億五千萬圓、之ヲ先ヅ春夏秋冬四回賣出スト云フ

コトニ計算致シマシテ六億圓ト決メタ
ヤウナ次第アリマス、併シ是ガモウ
少シ多ク出シテモ賣レト云フヤウナ
狀況ニアツタリ、或ハ連モ第一回ノ一
億五千萬圓ハ賣レタケレドモ第二回ハ
ソノ風ニハ行カヌト云フヤウナコト
ニナルカモ知レナイノデアリマス、初
メテノコトデアリマスカラ、六億圓ト
云フノハ一應ノ見込デアリマシテ、是
ヨリ多クナツタリ少クナツタリスルコ
トハ勿論アルデアラウト存ジマス

○子爵梅田鑑彦君 只今ノ説明デ了承
致シマシタ、序ニ主税局長ニ伺ヒタイ
ト思フノデアリマスガ、日獨英米ノ一
人當リノ國稅負擔額ハ、御配付戴キマシ
タ參考書類ノ一覽表ニ出テ居ルノ能
ク分リマシタガ、此ノ日獨英米ノ國民
所得割合ハドシナ風ニナツテ居リマス
カ、若シ御分リニナツテ居リマシタ
ラ、御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐喜) チョット書類
ヲ取調ベマシテ申上ゲマス、大體分ツ
テ居リマシテ、少シ資料ハ古イト思ヒ
マスガ、後デ申上ゲマス

○橋本辰二郎君 私ハ、今ノニ關聯シ
テ御尋ネシタイト思ヒマス、今ノ勝札
ノ六億圓ハ、ソレハ了承致シマシタ
ガ、是ハ總テノ、札ヲ購買シタ者ニ對
シテ幾ラカッ、ノ全部割當ガアルノデ
スカ、又白札モ大分アルノデスカ、其
ノ内容ノ御説明ヲ

○政府委員(氏家武吉) 勝札ニ付キマ
シテハ、色々發行條件ナドニ付テ考究
スベキ點ガアルノデアリマスカラ、是
ハ法律ニモ資金吸收特別委員會ト云フ
モノヲ置クコトニ致シマシテ、此處デ
慎重審議シタ上デ決メト云フコトニ
致シテアリマスガ、大體今腹案トシテ
持ツテ居リマス所ヲ申上ゲテ見マス

ト、政府ニ對スル納付金ハ豫算ニモ出
テ居リマスヤウニ、大體發賣金額ノ半
分見當ヲ取扱ノ銀行カラ納付サセルト
云フコトニ致シマシテ、一枚ノ金額、
一票ノ金額ハ差當リ十圓ト云フコトニ
スル方宜カラウ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス、先ヅ外地ノ方デ賣ルモノ、或ハ
日本ノ内地デモ特ニ何カ限ラレタ方面
ニ賣ル爲ニ、ソレヨリ少額ノモノヲ
發賣スルト云フヤウナコトモ考ヘテハ
居ルノデアリマス、大體十圓ノモノ、
斯様ニ考ヘテ居リマス、問題ニナリマ
スノハ最高當籤金デアリマスガ、之ノ
方ハ一應十萬圓、ソレヨリ多クスル
ハ最初トシテ餘リ適當デハアルマイ、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカ
ラ上級ノ當籤金、十萬圓トカ、或ハ二
等ノ位ニ致シマシタカ、サウ云フ上
級ノ當籤金ニ付キマシタハ、一部國債
デ交付スルト云フコトモ考ヘテ致シ
マシタハ、勸業銀行ノ支店出張所
ト云フヤウナモノノ外ニ、尙福券ナド
ヨリモモウ少シ窓口ヲ廣クシマシテ、場
合ニ依リマシテハ特別ナ賣捌人ヲ指定
スルト云フヤウナコトモ必要ガアラウ
カト、斯様ニ考ヘテ居リマス、先程ノ
御尋ヲハツキリ了解出來ナカツタノデ
アリマスガ、是ハ當籤者ノ數、割合ヲ
ドノ位ニスルカ、之モ一ツノ問題デア
リスガ、外國ノ例ナドヲ見マスト、
十人位ニ一人ト云フヤウナノモアリマ
スシ、十人ニ二人位ノ所モアルヤウデ
アリマス、福券ハ六人ニ付テ一人當リ
ト云フ風ニナツテ居リマスガ、大體ソ
レ等ト睨ミ合セマシタ上デ決定テ行キ
タイト思ツテ居リマス、申上ゲル迄モ
ナク、此ノ勝札ノ方ハ、當籤シタ者ハ
當籤金ヲ受取りマスケレドモ、當籤シ

ナカツタ者ハ、モウ後ハ何モ受取ルコ
トガ出來ナイト、斯ウ云フヤウナコト
一ナルノデアリマス

○橋本辰二郎君 最低ハ幾ラデスカ、
其ノ當籤者ノ最高ハ十萬圓デスカ、最
低ハ

○政府委員(氏家武吉) 最低ノ方モマ
ダ決メテアリマセヌ

○橋本辰二郎君 六億ト云フコトニ限
定セラレタノデスカ、「フランス」等
於テ、政府デヤツテ居ツタ例ガ多ク
ツタヤウニ聞イテ居リマスルガ、ソレ
等ノモノモ御調ニナリマシタカ、ソレ
カラ賣出シ金額ハドノ位迄消化セラレ
タカ、サウ云フノヲ御調ニナツタノガ
アリマスカ

○政府委員(氏家武吉) 取調ベタモノ
モアリマスケレドモ、今手許ニチヨツ
ト持ツテ居リマセヌノデ、調ベマシタ
上デ申上ゲタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐喜) 先程ノ外國ノ
國民所得ト租稅負擔ノコトニ付テ御答
ヘ致シマス、英國ニ於キマシテハ、千
九百四十三年度デアリマスガ、國民所
得ニ對シマシテ總租稅負擔ガ三十七
「パーセント」ト云フコトニナツテ居
リマス、米國ニ於キマシテハ、千九百
四十四年度デ三十五「パーセント」ト
「ドイツ」ニ於キマシテハ、千九百四十
三年度デアリマスガ、三十三「パーセ
ント」ト云フコトニナツテ居リマス、
日本ニ於キマシテハ昨年ノ昭和十
九年度ニ於キマシテ、國稅地方稅ヲ寄
セマシテ二十二「パーセント」ト、斯
ウ云フ數字ニ相成ツテ居リマスガ、今
同増稅ガ行ハレマスシ、又一方ニ於テ
國民所得ノ増加モアリマス、先日話ノ
アリマシタ如ク來年度ノ我が國民所得
ヲ九百億ト致シマスレバ、租稅ハ地方

稅、或ハ事實賣益金等ノ租稅ノ性質ノ
モノヲ總テ含メマシテ百八十億程度デ
アリマスカラ、二十「パーセント」位ナ
數字ニ相成ルコトト存ジマス

○委員(伯備林傳太郎君) ソレデハ
大藏大臣ガ見エマシタカラ、黒田君、
ドウゾ御質問願ヒマス

○黒田英雄君 私ハ大藏大臣ニ稅務機
構ノ整備充實ト、モウ一ツハ國民ノ納
稅思想昂揚ト云フ點ニ付テ、御考ヲ伺
ヒタイト思フノデアリマス、色々御質
問モアリ、又政府ノ御説明モアリマシ
テ、明カニナツテ居リマスルヤウニ、
此ノ新興所得者ニ對スル課稅ト云フモ
ノガ非常ニムヅカシイ問題デアリ、又
非常ニ必要デアルト云フコトハ、明カ
ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、是
ハ大藏大臣ノ御説明ノ通り、法律ノ改
正デ其ノ目的ヲ達スルコトハ困難デア
ツテ、矢張り課稅ノ、稅務行政ノ運用
ニ依ツテ行カナケレバナラヌト考ヘル
ノデアリマス、是ハ即チ人ノ問題ニナ
ルト思ヒマス、人ガ今日非常ニ手不足
デアルト云フコトハ、大藏大臣カラモ
色々御説明モアツタノデアリマス、左
様デアラウト思フノデアリマスガ、若
イ者ハ應召デ、折角稅務ノ講習ヲ受ケ
テ仕事ニ慣レテ來ルト、應召デ出テ行
クト云フ者モアル、從ツテ其ノ充實ニ
ハ餘程御苦心デアラウト思フノデアリ
マスガ、併シナガラ納稅モ色々多クナ
ツテ參リマスシ、先程申上ゲタヤウ
ノモ公正ニ、適實ニヤツテ行クト云フ
上ニ於テハ、ドウシテモ稅務署ニ坐ツ
テ居ツテハ駄目デアツテ、矢張り各種
ノ團體トカ各方面ニ色々折衝シ、協力
ヲ求メテ行カナケレバナラヌコトダラ
ウト思フノデアリマス、ソレニハ餘程

人ガ要リ、又稅務ニ慣レタ者ガナクチ
ヤナラスト思ツテ居リマス、大臣ノ御
話ノヤウニ、今ハ多クノ婦人ノ手デ色
色ナコトヲヤツテ居ルト云フ御話デ
スカ、婦人ノ手アタリデハ到底サウ云
フコトハ困難デアラウト思フ、然ルニ
一方ニハ應召ガアル、其ノ上ニ今度ノ
改正ニ於キマシテハ、臨時租稅措置法
ノ改正ニ於テ、五百萬圓以上ノ會社ハ
申告デ自分所得額或ハ營業ノ收益或
ハ稅額迄モ、出シテ申告ヲシナクチャ
ナラスト云フ風ニナツテ來ルト、自然
此ノ會社ハ、五百萬圓ノ會社ト云フノ
ハ私ハ相當ニ澤山ノ數ニ上ルダラウト
思フノデスカ、是等ノ會社ガ、ドウモ
サウ云フムヅカシイコトハナカノ、今
迄ノ事務員デハ出來ナイト云フノデ、
或ハ色々手ヲ以テ稅務署アタリカラ
慣レタ稅務官吏ヲ招聘スルト云フ風ナ
コトハ、私ハ起ツテ來ヤシナイカト云
フコトヲ恨レテ居ルノデアリマスガ、
唯サヘ手が足りナイ所ヲ、又今度ノ改
正ニ依ツテ有利ナル條件ヲ以テソチラ
ニ導カレルト云フヤウナコトガアツテ
ハ、益、課稅ヲシテ行キマス上ニ於テ
困難ヲ生ジテ來ルノデナイカト思フノ
デスカ、是等ニ對シテ稅務官吏ヲドウ
云フ風ニ將來充實ナサルト云フ御考ヲ
御持ツニナリマスガ、又、今馴レテ居
ル者ヲ、應召ハ是ハ仕方ガアリマセヌ
ケレドモ、ソレガ安ンジテ仕事ヲシテ
行クヤウニ國ニ於テ如何ナル御方策ガ
アリマスルカ、先ヅ此ノ點ヲ一ツ御考
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡嘉次郎君) 今回ノ稅
法ノ改正ニ當リマシテハ、稅務機關ノ充
實ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ一
ツハ矢張り此ノ新興階級ニ對スル稅ノ
充實ト云フコトガ、今日ノ時局下ニ於

キマシテ是非トモ必要デアラウト思フ
ノデアリマス、本豫算ニ計上致シマシ
タ額ト、追加豫算ニ計上致シマシタ額
ト合セマシテ、四百九十萬圓豫算ノ
増額ヲ計畫致シテ居ルデアリマス、
之ニ付キマシテハ、實ハ稅務機能ノ充
實、稅務協力委員ノ設置、農業會、統
制團體等ノ委託謝金、又下級職員ノ給
與改善費、稅務執行機關ノ強化、又今
御話ノアリマシタヤウニ、方々ハ矢張
リ出テ歩カナケレバ、新興所得者ナド
ト云フモノハ是ハトモ分ルモノデヤ
ゴザイマセヌカラ、新興所得者ノ調査
等ニ必要ト致シマスル旅費、又新興所
得階層ノ爲ノ調査囑託員設置費、左様
ナ意味合ニ於キマシテ、主トシテ此
ノ新興所得階層ノ目標ト致シマシテ、
各般ノ施設ヲ致シ、アリマス共
ニ、一面ニ於キマシテハ稅務職員ノ訓
練又下級職員ノ給與改善、稅務講習所
ノ増設等ヲ圖リマシテ、部内ノ職員ガ
落著イテ仕事ノ出來マシヤウニ、色々
施設ヲ致シテ居ルデアリマス、只今
モ御話ノアリマシタ今同ノ方針ノ決定
ノ變更ニ伴ヒマシテ、稅務官吏ガ其ノ
方ニ行キハシナイカト云フ御話モアリ
マスガ、ソレハ多少行ク者モアルカ知
レマセヌケレドモ、一方ニ於キマシテ
ハ、矢張り後々稅務署ニ於テ調査決定
ヲ致スノデアリマスカラ、從ヒマシテ
一度本人ガ納メマシテモ、ソレガ後ニ
ナツテ變更致サレルト云フコトニ相成
ツテ來ルノデアリマスカラ、會社ニ於
テモ別ニサウ稅務官吏ヲ極端ニ必要ト
認メヌヤウナ仕組ニ相成ツテ居ル譯デ
アリマスガ、多少ノ者ハ行クカト思ヒ
マスガ、サウ多クノ者ハ行キハセヌダ
ラウト思ヒマス、又現ニ既ニ行ツテ居

ル者モゴザイマスカラ、左様ニ心配ハ
致シテ居リマセヌ、今ノ狀況ニ於キマ
シテモ、稅務官吏ガ漸次應召其ノ他ニ
依リマシテ、減ツテ居リマスコトハ、
是亦申上ゲタ通りデアリマスガ、ドウ
シテモ今日ノ時局、又先ノ見透シト致
シマシテハ、重労働者重労働者、是
ハドウシテモ男ガ必要デアリマシテ、
軍人應召者等ヲ考ヘ合セマスレバ、稅
務官吏ニ男ヲ探ルト云フコトハ、私ハ
今日以上ニナカクムヅカシクナツテ
來ル、從ヒマシテ是ダケ色々ナ施設ヲ
致シテ居リマスノモ、實ハ其ノ間ノ間
隙ヲ縫ツテ、斯ウ云フヤウナ訓練デア
リマス、或ハ處遇ノ問題デアリマ
ストカ、色々ナコトヲヤツテ居リマス
ガ、結局ニ於テハ男ガ漸次減少シテ來
ル、女ガ多クナツテ來ル、此ノ上トモ
女ガ多クナツテ來ルコトヲ考ヘザルヲ
得ナイノデアリマス、ソレハ單リ稅務
官吏、バカリデハアリマセヌ、各省自體
ガ實ハ女ガ非常ニ多クナツテ來ル、男
デナケレバ仕事ノ出來ナイト云フヤウ
ナ工場ノ重工業ニ男ガ主トシテ從
フ、後ハ女デ出來ル所ハ女ガ受持ツ、
斯様ナコトニ相成ツテ來ルト云フコト
ガ、先ヅ今後ノ見透シトシテ考ヘザル
ヲ得ナイカト思フノデアリマス、從ヒ
マシテ女子職員ニ對スル訓練ニ付キマ
シテモ、随分骨ヲ折リ積リデアリマ
ス、ドウモ男ノ方ハ幾ラ教育シ講習致
シマシテモ、直グニ應召シテシマヒマ
シテ、後ハ病人デアリマス、サウ
云フ者ハカリニナツテ來ルノデアリマ
スカラ稅務全體ノ構想ト致シマシテ
ハ、餘程考究致シテ行ク必要ガアルト
存ジマス、或ハ六十デアリマス、七十
デアリマス、八十デアリマス、トニ於テ
ハ八十迄ノ人ニ働イテ貰フノダト云フ

コトヲ言ツテ居ルサウデアリマスガ、
實ハ稅務ニ居ツタ者デハ、私ハ七十迄
位ノ者ハ全部一年以上居タ人ハ呼ビ返
シテ、サウシテ稅務署ノ仕事ヲヤツテ
欲シト思フノデアリマシテ、八十ト
云ヒマス、大分ノ老人デアリマス
ガ、七十迄ナラバ十分稅務署デ働ケル
ト思ツテ居リマス、實ハ探シテ居リマ
スガ、存外ニ見附カリマセヌ、七十迄
ハ何トカ、稅務署ニ居ツタ者ハ何處カ
デ仕事ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、
ナカク見附カリマセヌガ、サウ云フ
人ニハ元居タ位ノ月給、稅務署長デア
リマスレバ、仕事ハ署長ノ仕事デアリ
マセヌガ、署長位ノ給與デ實ハ働イテ
貰ヒタイト思ツテ、色々考ヘテ居ルノ
デアリマス、左様ナコト迄シテ稅務行
政ノ機能ノ充實ニ付テハ目下考ヘテ居
ル次第デアリマス、今後トモ御説ノ通
リ、更ニ一層十分其ノ能率ノ上リマス
ヤウニ考ヘテハ行キマスガ、一方ニ於
テ非常ニムヅカシイ困難ナ條件ノアル
コトハ、是亦十分御了承願ヒタイト思
ヒマス

○黒田英雄 定メシ非常ニ御苦心ノ
アルコトト私ハ推察致スノデアリマ
ス、老人ノコトニ付キマシテハ實ハ色
色御尋ネシヨウト思ツタノデスガ、一
昨年デアリマシタカ賀屋大藏大臣ノ時
分ニ、稅務官吏ノ停年ト云フヤウナコ
トデ、マダ働ケルヤウナ人ヲ辭メサセ
ルヤウナコトハ御慶メニナツテハドウ
カ、又辭メタ人デモ一ツ豫備ノ軍人ガ
又出テ行ツテ働カレルヤウニヤツタラ
ドウカト云フコトヲ御尋ネ致シタノデ
アリマスガ、矢張りドウモマダ若い人
ガ、停年ノヤウナ形デ辭メル人ガ隨分
多カッタノデスガ、今度大臣ハサウ云
フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカラ非常ニ

結構ダト存ジマス、ソレカラ女子ニ付
テハ何處デモデアリマセウガ、ナカク
落着イテ長クハ出來ナイ、或ハ結婚ト
カ或ハ子供ガ出來タリ、色々ナ事情デ
長續キシナイヤウニ思フノデスガ、女
子ニ付テハ、今ハ本當ノ課税ノ上ノ仕事
ヤラセルヤウニ何カ御教育ニナツテ
居ルノデスカ
○國務大臣(石渡嘉次郎君) 只今御話
ノアリマシタ停年ノ問題ニ付キマシテ
ハ、大體六十位ニナリマス、停年ト
云フコトデ從來ハ辭メテ居ツタノデア
リマスガ、私ハ昨年就任以來此ノ停年
デ辭メサセルコトハ中止致シテ居ルノ
デアリマシテ、停年ニ至ツタカラ一言
ツテ辭メサセナイ、尤モ停年ト云フコ
トニ付キマシテモ、法律デ別ニ停年ヲ
決メテ居ル譯デアリマセヌデ、實際
ノ慣行上ヤツテ居ツタノデアリマス
ガ、從ヒマシテ此ノ停年ヲ「ストップ」
シテ、引續イテヤラセルト云フコトニ
付テ別段ノ手續ヲ必要トハ致シマセヌ
ガ、辭メサセテ居ラナイト云フコトヲ
御承知戴キタイト思ヒマス、女子ノ問
題ニ付キマシテハ、ナカク此ノ頃ハ
訓練ノ結果良クナツテ參リマシテ、判
任官ニナツテ、男ト同様一人前ニ立派
ニ仕事ノ出來ル婦人ガ幾ラモゴザイマ
ス、唯ドウモ婦人ノコトデアリマスガ
ラ、荒ツボイ納稅者ガ怒リ出シタリナ
シカ致シマス、稅ノコトデアリマス
カラ、積ニ觸リマス怒ル者ガ隨分ア
リマスガ、怒ツテ大キナ聲ナドヲサレ
マス、ソレニドウモ怯エルヤウナ傾
向ノアルコトハ、是ハドウモ免レマセ
ヌ、免レマセヌガ、仕事ハナカク立
派ナ男ノ一人前ニヤツテ行ケルダケノ
婦人ガ相當アリマス、一遍ニ判任官
ニ任官ヲ致シテ居ル者モ相當デゴザイ

マス
○黒田英雄 次ニ私ハ國民ノ納稅思
想ノ昂揚ノ點ニ付テ御考ヲ伺ヒタイノ
デスガ、一方ニ於テハ稅務署ニ於テ、
機構ヲ充實シテ課稅ヲ適切ニヤツテ行
クト云フコトガ必要デアリマスガ、此
ノ戰爭ガ益、苛烈ニナツテ來テ、モウ
負ケルカ、勝ツカト云フ風ナ時ニナツ
テ、國民ハ時ニ依レバ最後ノ一錢デモ
出シテ戰ニ勝タナケレバナラヌト云フ
風ナ時機ニナツテ居ルノデアリマス
ガ、此ノ納稅ニ國民カラシテ進ンデ稅
ヲ正確ニ納メテ行クト云フ風ニ、皆國
民ガナツテ來ルト云フコトデナケレバ
ナラヌト思フノデスガ、ソレニ對シテ
大藏大臣ハ何カ、特ニ施設上御考ハア
リマセヌデセウカ
○國務大臣(石渡嘉次郎君) 日本人ノ
常ト致シマシテ、非常時局、殊ニ戰爭
ノ場合ニ當リマシテハ、納稅思想ガ非
常ニ昂揚致シテ來マスコトハ、是ハ黒
田委員モ過去ノコトニ付キマシテハ、
能ク御存ジノコトデアアルト思フノデア
リマス、即チ明治二十七八年ノ戰役、
又明治三十七八年ノ戰役ニ於キマシテ
モ、滯納狀況等ガ著シク改善致サレ、
國民ハ進ンデ此ノ非常時局ニ對シテ納
稅ヲ致スト、斯様ナコトニ相成ツテ來
マシタコトニ付キマシテハ、過去ノ危
局ニ幾多其ノ事實ガアルノデアリマ
ス、ソレデ今日支那事變以來モ、此ノ
國民ノ納稅ノ思想ハ單リ滯納ニ現レマ
シタ結果ダケデアリマセヌ、其ノ課
稅標準ノ決定ニ當リマシテモ、又本人
ノ異議ノ申立テニ於キマシテモ、不斷
トハ非常ナ相違ガアルノデアリマシ
テ、國民ハ進ンデ喜ンデ納稅ヲ致スト
云フコトハ、各方面ニ現レテ居ルノデ
アリマス、ソレデ私モ、此ノ前昭和十

四年ニ大藏大臣ヲ拜命致シマシタ時ニ
モ、又今同左様アリマスガ、私ハ
大藏大臣就任ト同時ニ、此ノ日本人ノ
非常時ニ於ケル所ノ納稅思想ヲ害サナ
イヤウニ、損ハナイヤウニシテ實ヒタ
イト云フコトヲ、主稅局長其ノ他主稅
局ノ當局、又財務局長ニモ吳々言フ
テ居ルノデアリマス、課稅標準ガ少シ
ドウモ自分ノ考ヘテ居ルヨリモ多イ
云フヤウナコトノ苦情ヲ申出ヅルコト
ハ少イノデアリマシテ、私共モ此ノ位
ノ、自分デ納メラレルダケノモノハ納
メテ行カウ、斯ウ云フ考ガ一般デアリ
マスカラ、從ツテ稅務署ノ方デモ餘程
注意ヲ致シマシテ、間違ヒノ起ラナイ
ヤウニ、所謂苛斂誅求ト云フヤウナコ
トニ至ラナイヤウニ、其ノ注意ヲ促シ
テ居ルノデアリマス、ドウモ此ノ納稅
思想ノ涵養ト云フコトハ、色々ナ施設
ヲ講ズルヨリモ、私ハ一番ノ納稅ノ思
想ノ涵養ノ問題ハ、稅務署ガ無理ヲシ
ナイ、是ガ國民ノ納稅思想ノ根本ノ涵
養ガ出來ルト思ツテ居ルノデアリマシ
テ、趣旨ト致シマシテ、此ノ稅務官廳
ニ對シマシテハ、十分ニ其ノ點ニ付テ
注意ヲ致シテ居ル次第デアリマス、此
ノ積極ノ方策ト致シマシテハ、各般
ノ施設ヲ講ジテ居ルノデアリマスガ、

國民ノ納稅思想ヲ振起シ、サウシテ此
ノ納稅思想ノ損ハナイガ爲ニ、黒田委
員モ大藏省ノ主稅局長ヲサレテ居ラレ
マシタ時ニ拵ヘラレタ稅務相談所デア
リマスガ、此ノ稅務相談所ハ其ノ後ノ
狀況ニ於キマシテ、ドウモ官廳ガ此ノ
稅務相談ヲヤツテ居ルモノデアリマス
カラ、ドウモ黒田委員ガ此ノ制度ヲ創
設サレタ當時カラ見マシテ、大シタ發
展ヲ實ハ致サナイト云フヨリハ、アナ
タガ御拵ヘニナツタ時ヨリハ寧ロ後退
ヲシテシマツタヤウナ狀況デアリマシ
タ、ソレデ大藏省ニ於キマシテモ、是
ハ官廳デ斯様ナ相談所ヲ設ケテ居ツタ
ンデハドウモ發展シナイ、納稅思想ノ
涵養ノ爲ニハ、是ハ寧ロ民間團體ニ移
シタ方宜クハアルマイカ、ト云フヤ
ウナ觀點カラ致シマシテ、本年夏、此
ノ稅務相談所ヲ官廳ノ手カラ離シマシ
テ、別ニ日本稅務協會ト云フモノヲ興
シマシテ、此ノ日本稅務協會ニ、此ノ
官廳ノ持ツテ居リマシタ稅務相談所
ヲ附ケタノデアリマシテ、ソレデ此ノ
稅務協會ハ一面ニ於キマシテハ、納稅
思想ノ涵養ヲ致スト共ニ、一面ニ於キ
マシテハ一般民間カラノ稅務相談ニ應
ジテ居ル次第デアリマス、其ノ結果ハ
稅務相談ノ仕事ト云フモノハ非常ニ繁
昌シテ來テ居ルノデアリマシテ、矢張
此ノ仕事ハ官廳デヤツテ居ツタ時ヨ
リモ、民間ニ移シタ方宜クツタと思ツ
テ居ル次第デアリマス、此ノ日本稅務
協會ハ目下稅務相談所ノ仕事ヲ致シテ
居リマスト共ニ、是ハ其ノ以前ノ稅務
懇話會ノ仕事ヲ引繼イダノデアリマ
ス、稅務懇話會ハ元々國民ノ納稅思想
ノ涵養ノ下ニ、是モ黒田委員ノ主稅局
長ヲサレテ居ラレタ時ニ發足致シタコ
トト思フノデアリマスガ、是ハ其ノ發
足致シマシタ時分カラ、色々興味ア
リ問題ヲ持ツテ居ツタノデアリマス
ガ、ソレニ從事致シテ居ル人ノ問題モ
アリマシテ、多少一時ゴタ／＼シタコ
トガアルノデアリマスガ、併シナガラ
此ノ、納稅者ト又政府トノ間ニ立ツテ、
サウシテ色々政府ニ代ツテ説明モシ、
又納稅者ニ代ツテ、政府ニ懇ヘル機關
トシテ面白イ機關アルコトハ申ス迄
モゴザイマセヌ、之ヲ擴大強化致シマ
シテ、日本稅務協會ト云フモノヲ新設

致シマスルト共ニ、只今先程カラ御説
明致シテ居リマスル、稅務相談所ヲ之
ニ附セシメマシテ、サウシテ全國ニ互
リマシテ四十箇所位ノ支部ヲ置キマシ
テ、此ノ納稅思想ノ涵養ニ當ツテ居ル
譯デアリマス、大體左様ニ御了承願ヒ
タイト思ヒマス

○黒田委員 納稅者ト稅務官廳トノ
間ニ立ツテ、能ク納稅者ヲ納得サセル
ト云フヤウナコトニ付テノ施設ハ、只
今ノ御説明デ分リマシタ、尙此ノ新興
所得者等ニ於テ、課稅スル上ニ於テ
手が足りナイト云フ風ナコトモアルノ
デスガ、是ハ稅務署デ、只今ノ御話ノ
ヤウニ色々工夫サレテ從事サレテ行
カレルノデスガ、一方國民全體ガ、今
迄納稅シタコトノナイ國民全體ガ、斯
ウ云フ非常ノ時期ニ於テハ、自分カラ
進ンデ食ヘルモノモ少クシテデモ、稅
ヲ納メテ行カウト云フ風ニナツテ來ナ
ケレバ、手が不足デアリシナク／＼一
人々々調ベテ行ク譯ニハイカヌノデス
カラ、一般ニ國民全體ガサウ云フ氣分
ニナルト云フヤウナコトガ望マシイノ
デハナイカト思フノデスガ、無論日本
國民デスカラ皆サウ云フ氣持ニナツテ
居ルノデセウガ、ドウモ新興所得者ニ
課稅ガ出來ナイ所ヲ見マス、何カマ
ダ其處ニ足ラナイ所ガアルト思フノデ
スガ、ソレ等ニ付テ何カ御考ガアリマ
スカ

○國務大臣(石渡嘉太郎) ドウモ稅
務官廳ガ、又大藏省ガ之ヲ宣傳ヲ致シ
マスコトハ、宣傳ト云ツテハ語弊ガア
リマスガ、納稅思想ノ涵養ニ付キマシ
テ色々申スコトハ、何カ税金ノ餘計
取リタイガ爲ニ、ア、云フコトヲ言ツ
テ居ルノダラウト云フヤウナ感觸ガア
リマシテ、ドウモ從來カラ餘リ效果ガ

現實ノ事態ニ於キマシテ、大藏當局ニ
於テハ之ニ對スル何等カ相續ノ特免
デスカ、減免デスカ、處置ヲ御執リニ
ナル所ノ御考ガアルノカ、先ヅ第一ニ
ソレヲ承リタイノデアリマス

○國務大臣(石渡嘉太郎) 稅法ニ戰
死ト相成ツテ居ルノデアリマシテ、只
今ノ處置ヲ擴張致ス考ハ持ツテ居リ
マス

○國務大臣(石渡嘉太郎) 成程條文ノ正面
カラ御解釋ニナリマスレバ然ルベキダ
ラウト存ズルノデアリマスガ、併シ軍
人ダケデ、軍人以外ノ者ハイカヌ、如
何ニ奮闘シ、如何ナル防空ノ任務ヲ盡
シマシテモ、一文モ値打ノナイモノト
棄テラレルト云フヤウナ感觸ヲ持ツノ
ハ、如何ニモ、職業ニ於テ違ヒマス、
職域ニ於テ違ヒマスガ何等カ同情アル
所ノ按排ヲ、法律ノ改正其ノ他ノモノ
ハ非常ニムツカシイ問題デアルカモ知
レマセヌガ、何等カ特例、方法ヲ御考
ニナツテ下サルナラバ、所謂軍官民協
力一致ノ防空陣ヲ益、強化スル態勢ヲ
作ルヤウニナルト云フコトニモナリハ
シナイカ、假ニ考ヘテ見マス、本年
度ノ豫算ニ於テ相續稅ハ約一億二三千
萬圓ダト思ヒマスガ、假ニサウ云フヤ
ウナ該當者ガアリマシテ、稅ガ取レナ
クツタト云フコトヲ考ヘマシテモ、約千
億近イ所ノ豫算、一億位ハ一小部分
デアアル、大海ノ一粟デアリマスカラ、
其ノ恩與ヲ受ケタ所ノ家族、一般國民
ノ志氣、國民ノ氣持カラ言ツタラ、ド
ウモ程喜ビテ程満足スルカ、サウ云フ點
ヲ矢張り大藏當局ニ於テ御考慮ヲ願ツ
テ相當ナ對策ヲ講ゼラレルコトガ、現
在ノ目前ニ迫ツタ時局柄必要デヤナイ
カト思ヒマスガ、更ニモウ一遍
ヲ致シテ居リマシテ、最近ノ立法私

ノ支那ニ行ツテ居ル間ニ出來タモノデアリマスカラ、能ク存ジマセデシタガ、戰時災害國稅減免法施行規則第九條ニ於キマシテ、「戰時災害ニ因ル死亡ニ因リ開始シタル相續ニ付テハ左ノ區分ニ依リ相續稅ヲ輕減又ハ免除ス但シ課稅價格十萬圓ヲ超エルトキハ此ノ限ニ非ス課稅價格三萬圓以下ナルトキ相續稅額ノ全部、同五萬圓以下ナルトキ相續稅額ノ十分ノ五、同五萬圓ヲ超エルトキ相續稅額ノ十分ノ二」ト云フ規定ガアルヤウデアリマス、相續稅ノ減免ニ付テハ同一デハゴザイマセヌガ、輕減免除ノ規定ガアルヤウデアリマス

○男爵松平外與實君 極ク簡單ナコトデアリマスガ、先程モ矢張り委員ノ方カラ御質問ガアツタノデスガ、國民貯蓄ノ限度ノ問題デアリマス、自分ハ町會長ヲヤツテ居リマスノデ、町會ニ色色ナ割當ガ來ルノデ感ズタノデアリマスガ、先程竹下委員カラ都民稅中心デヤナクシテ所得モ考ニ入レト云フ御意見モアリマシタガ、ドウモ割當方法ト云フモノヲ區役所ニ參ツテ伺ヒマシテモ、區役所デハ都廳デアルノダ、斯ウ云フ話デアル、ドウモ員數トカ世帯數カラ見マシテ、或一人ノ相當ナ有力者ガ居ル、アソコハ金持デアルカラウソトカケロ、不公平ダト云フコトハ、自分ノ立場カラ申ストオカシイデスガ、餘リ各所ノ割當ノ額ガ非常ニ開キガアルト云フコトヲ歎、感ズマスノデ、再三再四東京都デアリマストカ、區役所ニ其ノ話ヲシタノデアリマスガ、世帯數ト云フモノハ國民貯蓄ニ付テハ餘リ査定ノ眼目ニ置イテオイデニナラナイノデアリマセウカ、ソレヲ簡單ナ問題デスガ、局長カラデモ宜シウ

ゴザイマス、チヨット參考ニ伺ヒタイ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 東京都ニ於キマスル貯蓄ノ割當ハ大體ニ於テ都民稅ヲ基ニシテヤツテ居ルヤウデアリマス、ソレデ從ツテ今アナタノ御話ニアリマシタヤウナ、世帯數ト云フヤウナコトハ餘リ構ハズニヤツテ居ルヤウデアリマス、尤モ都民稅ノ標準ノ中ニハ所得稅ノ稅額ヲ算定ノ基礎ノ中ニハ、家族ノ數ガ織リ込マレテ居リマスカラ、其ノ中ニ幾人ノ家族ガ居ルカト云フコトハ多イニ從ツテ割當ガ少クナル、斯様ナコトニ相成ツテ居ルと思ヒマスカラ、或程度迄織リ込マレテ居ルノデアリマスガ、先程モ御話シタヤウニ、所得三千圓以下ノモノハ綜合所得稅ヲ受ケマセヌカラ、從ツテ三千圓以下ノモノハ所得ガ加味サレテ居ラヌ、都民稅ノ標準ニシテ貯蓄ノ割當ガ行ハレノデアリマス、從ツテ、其ノ點ガ表面ニ現レテ來ナイト云フコトニ相成ルノデアリマス、御話ハ能ク了解致シマシタガ、實例カラ見マシテ私ノ居リマス所ノ世帯數ガ非常ニ少イノデス、ソレデ同シ麻布デアリマスガ、外ハ約三倍位ノ世帯數デ、所得稅負擔ヲ比ベマシテモ左程開キガアリマセヌノニ、私共ノ方ニ對シテバ其ノ世帯數ノ多イ方ノ倍以上ニナツテ居リマス、中ニ相當高額所得者ガアル關係カ知レマセヌガ、是ハ或程度迄大藏當局ヨリ地方關係當局ニ、相當世帯數ト云フモノヲ割當査定ノ標準トシテ有力視シテ按配サレルヤウニ、御配意願ヒタイト云フコトヲ希望シテ置ク次第デアリマス

貯蓄ノ割當、公債ノ割當等ニ付テ加味サレルコトハ、勿論當然デアルト思ヒマス、ソレデ左様ナ御疑モアル、又實際疑問ノ點モ餘計ニアルノデアリマスカラ、今回臨時資金調整法ヲ改正致シマシテ、各市町村デ委員會ヲ設ケタイト思ツテ居リマスノデ、十分左様ナ點ハ檢討致シ機會ガアラウカト存ジマス

○內田重成君 只今稅務官吏ノ機構ノコトニ付テ御説明ヲ願ヒマシテ、大分分リマシタガ、稅務官吏ノヤリ方一ツニ依ツテ、土地住民トノ確執ガ起ルト云フヤウナコトデ、今日ノ時代ニ官吏ト人民ノ間ノ尖鋭化ハ最モ恐ルベキモノト思フノデアリマス、就中苛稅ハ虎ノ口モ恐ルベキモノデアルト云フ言葉ハ稅務ノ面ニ於テ現レル、即チ徵稅ノ方面ニ於テ現レルノデアリマスガ、稅務官吏ニシテ成ルベク地方ノ事情ニ宜ク精通スル爲ニハ相當ノ期間其ノ地方ニ在勤スルコトヲ必要トスルノデ、稅務官吏ノ收稅力ノ向上ト否トニ依ツテ其ノ地位ガ進級スルカ左遷サル、ト云フヤウナコトガアツテハナラヌト考ヘマス、兎角稅務官吏ガ豫定サレタモノヨリ以上ニ收稅ヲシタ場合ニハ、其ノ成績良好ナリト云フ、收稅量ニ依ツテ成績ノ上下ヲ附ケラレト云フコトノ話ヲシタ者ガアル、噓カ本當カ存ジマセヌガ、左様ナ話ヲシタ者ガアル、サウ云フコトガアツテハ、是ハ頗ル間違ツタ標準デアル、其ノ能力ノ計量ノ標準ガ間違ツテ居ル、サウ云フコトガアルト、兎角苛稅請求ト云フコトニ陷ル處ガ多イ、常ニ難題ニ付キマシテハ、政府當局ハ能ク御考ノコトト思フガ、左様ナ收稅力ノ多少ニ依ツテ、其ノ人間ノ働キガアルトカナイトカ云フコトノ品評ヲサレルコトハ、是ハ

絕對ニ禁物デアルト私ハ考ヘテ居ル、兎角後ハ野トナレト云フ主義デ、非常ニ殘酷ナ徵稅ヲスル者モアルヤニ聞クノデアリマス、左様ナコトノナイヤウニスルニハ、好イハ成ルベク其ノ地方ニ長ク在勤ヲサセル、サウシテ其ノ地方デ出來ルダケ進級ヲサセルト云フ風ニ、稅務官吏ノ人事ノ御取扱ヲ希望スルノデアリマス、無論左様ニ御ヤリニナツテ居ルコトト思ヒマスガ、其ノ位置ノ變更ガ餘リ早イト云フト、兎角後ハ野トナレ主義デ、地方民ヘノ當リ等ガ非常ニ強クナルト云フ虞ガアルト云フコトヲ承ツタ、此ノ點ニ付キマシテ一ツ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 私ハ屬荷裁請求ノ問題ニ付キマシテハ部下ヲ苛メテ居ルノデアリマス、先程モ申シマシタ通り、此ノ非常時局ニ際シマシテ、國民ガ稅金ヲ納メルコトニ勵ミマスコトハ、誠ニ涙グマシキバカリデアリマス、斯カル狀況ニ於キマシテ稅務官廳方面ニ於テ、若シモ苛稅請求ト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、ソレハ國民ノ此ノ熱誠ニ酬イル途デナイト存ジテ居ルノデアリマス、又斯クノ如キコトガ行ハレト云フコトデアリマスレバ、今アナタノ御心配ニ相成ツテ居ルヤウナ、統後ニ於テ官民ガトシデモナイ問題デ意思ノ疎通ヲ缺キ感情ノ阻隔ヲ來シ、極メテ寒心スベキ狀態ヲ發生致スノデアリマスカラ、私ハ事荷苛稅請求ノ疑ノアルト云フコトニ付テハ、深ク戒メテ居ルノデアリマス、昨年モ私ハ若シモ實際苛稅請求スルヤウナ役人ガアルナラバ、必ズ自分ハ其ノ役人ヲ罷メサセルト云フコト迄言ツテ部下ヲ戒メテ居ルノデアリマス、稅金ヲ餘計取ツタカラ其ノ役人ヲ榮轉サ

セルト云フヤウナコトハ、稅務官吏ニ對シテ昔カラ色々言ハレテ居ルコトデアリマスガ、左様ナコトハ斷ジテゴザイマセヌ、昔カラ左様ナコトハ斷ジテゴザイマセヌ、公正ナ、公平ナ、適正ナ稅金ヲトル役人ヲ第一等ノ役人ト致シテ居ルノデアリマス、只今御心配ノ點ニ付キマシテハ、今年はダケノ増稅ヲ致ス際デアリマスカラ、更ニ一層ノ戒慎ヲ加ヘルコトニ致シマス

○橋本辰二郎君 先程ノ松平男爵ノ御話ニ關聯致シマスガ、公債ノ割當ノ問題デス、是ハ國民皆困ツテ居ル、處ガ、今度市民稅ヲ五割増スコトニナリマシタガ、矢張りドウモ市民稅ニ準據シテ、公債ノ割當ヲ決メルコトニナルト、市民稅ノ上ツタダケ、公債ノ割當モ引上ゲラレルコトニナリマスカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 市民稅ガ上ルコトハ、其ノ爲ニ公債ノ割當ガ必ズ上ルト云フ譯ノモノデハナイ、公債ノ割當ハ公債ノ發行額如何ニ依ルト思フノデアリマス、又公債ノ發行額ノ中、各縣ノ隣組ニ幾ラ割當テルカ、其ノ割當額ヲ殖ヤスカドウカト云フ問題デアラウト思フノデアリマス、ソレデ公債ノ發行額ニ付テハ四百十億ガ六億位ニ今度相成ルデアラウト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、サウスルト、丁度此ノ方ハ五割位餘計貯蓄ノ目標額ガ上レ譯ダト思フノデアリマス、ガ併シナガラ、其ノ五割上ルト云フモノハ全部隣組ノ國債ニ持ツテ行クカドウカト云フコトハ、今後各種ノ機關ヲ通ジテ研究ノ結果幾ラ殖ヤスト云フコトニ致スコト相成ルノデアリマシテ、市民稅ガ上ツタダケ國債ノ割當額ガ上ルト云フモノデヤアリマセヌ、或ハ市民稅ノ上ツタ以上ニ割當額ガ殖

エルカモ分リマセヌシ、又ソレ以下ニ下ルカモ分リマセヌ、關係ハゴザイマセヌ

○橋本辰二郎君 大體御答辯トシテハサウデアリマセウケレドモ、實際トシテハ矢張り市民税ノ上ツタダケ五割、餘分ニ割當テラレルト云フ國民ハ覺悟ヲ持タナケレバイカヌト心得テ宜イデスカ

○國務大臣(石渡嘉太郎君) 左様ナ心持ヲ御持チニナルコトハ必要ゴザイマセヌ、併シナガラ或ハ餘計ニ行クカモ分リマセヌ

○委員長(伯島林博太郎君) 次ニ政府委員ニ御質問ノアル方ハ

○下條康慶君 所得税ノ問題ニ付テ伺ヒタイノデスガ、今回ハ分類所得税ニ付テ増率ニナツテ居リマシテ、綜合所得税ニハ手ガ附ケテナイノデアリマシテ、所得税ヲ分類綜合ニツニ分ケマスガ、ソレハ實ハ一貫シタモノデアリマシテ、全體ヲ通ジテ權衡ヲ得テ居ルヤウニ思フノデアリマス、之ニ付テ先般衆議院デ質問ガアツタヤウデアリマス、ソレニ對シテ主税局長カラ、綜合所得税ヲ課ケラレテ居ルハハ大分疲レテ居ルカラ、今回見合ハシタト云フヤウナ御答辯ノアツタヤウニ見タノデアリマスガ、疲レテ居ルトカ、遠慮サレテ理由ヲ具體的ニ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐君) 今回ノ所得税ノ引上ニ付キマシテハ、分類所得税ニノミ止メマシテ、綜合所得税ハ差控ヘテ課ケラレマスガ、其ノ理由ト致シマシテハ、全體トシテノ増税額ガ十八億程度ノ増税額ト致シマスルナラバ、何處ヘ持ツテ參ルノガ適當カト云フヤウナコトヲ能ク慎重考慮致シマシテ、其ノ大部分ハ所得税ニ參ルト致シマシ

テモ、綜合所得税ト分類所得税ヲドウ云フ風ニ引上ゲルカト云フヤウナコトヲ研究致シマシタ結果、綜合所得税ニ付キマシテハ現在既ニ税率ガ相當引上ゲラレテ居リマシテ、引上ノ餘地ガ乏シイト考ヘラレル譯デアリマス、又綜合所得税ハサウ云フ風ニ引上ノ餘地乏シク、且納税人員モソレ程多クアリマセヌノデ、之ヲ多少引上ゲテ見マシテモ、稅收入ト云フモノハサウ多額ヲ期待スルコトガ出來ナイ、今日綜合所得税ノ最高税率ハ御承知ノヤウニ七十四ト云フコトニ相成ツテ居リマス、五十萬圓超過ノ所得ニ對シテハ七十四、ソレニ分類所得税、例ヘバ不動産所得等ハ今迄二十一、今回二十三ニナリマスガ、是等ヲ加ヘレバ九十七、分類所得税ノ引上ダケ最高税率ハ九十七ト云フコトニ相成ル譯デアリマス、此ノ程度ノ増税ニアツテハ綜合所得税ノ引上ハ、此ノ際ハ見合ハシタ方ガ適當デアラウ、斯様ナ趣旨カラ綜合所得税ニ觸レマセデシタヤウナ次第デアリマス

○下條康慶君 私モ現狀ノ點ニ於キマシテハ、綜合所得税ノ賦課ハ此ノ上餘地ガナイヤウニ思ツテ居ル一人デアリマス、今御話ノアツタヤウニ非常ニ稅率ガ高イ爲ニ、實際綜合所得税ヲ拂ツテ後、所得ノ餘ス所ガナイト云フヤウナコトモ屢聞イテ居ルノデアリマス、殊ニ此點ハ當テ綜合所得税ガ設ケラレタ時、問題ニナツタト思フノデアリマスガ、分類所得税ヲ課ケラレテ、其ノ課ケラレテ居ル稅率引カナイデ、元ノ所得ニ綜合所得税ヲ課ケテ居リマスカラ、二重課税ノ形ニナツテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點カラ見マスト云フト、綜合所得税ト云フモノノ餘地ト云フモノハ、甚ダ乏シイノデアルト云フ

風ニ考ヘテ居リマシテ、今御話ニ依リマシテ其ノ點ガハツキリシタノデアリマスガ、マア將來非常ナ變化ガアル場合ハ別ト致シマシテ、現狀ノ儘デハ先ツ綜合所得税ノ増徴ト云フコトハナイト見テ宜シイノデゴザイマス

○政府委員(田中豐君) 綜合所得税ハ今回ノ増税デハ差控ヘマシタ、併シナガラ増徴ノ餘地ナシトハ考ヘテ居ナイノデアリマスガ、今回程度ノ増税、所得稅カラ八億程度ノ増收ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ程度ノ増税ニ於テハ先ツ分類所得税ノミニ止メルノガ適當ダト考ヘタ譯デアリマス、尙分類所得税ヲ徵收シタ殘額ニ綜合所得税ヲ課税シナイデ、總額ニ課スル、二重課税ニナツテ居ル、其ノ爲ニ増徴ノ餘地ニモ乏シクナツテ居ルト云フ御話モアリマシタノデスガ、是ハ別ニ二重課稅ダトハ考ヘテ居リマセヌ、全體ヲ合シマシタ總所得ニ對シテ、分類所得税トシテ、幾ラ取ル、綜合所得税トシテ幾ラ取ル、其ノ分類綜合ヲ合シマシタモノガ、其ノ總所得ニ對スル負擔デアリマシテ、是ハ二重課税トカ何トカ云フ問題デハナイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、餘地ガ餘程少クナツテ居ルコトハ事實デアリマシテ、今後増税ノ際ニ綜合所得税ノ稅率ノ引上ト云フコトモ考慮セラレルト思ヒマスガ、其ノ餘地ハ餘程乏シイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○下條康慶君 課ケル方ノ方ハ二重課稅ニ考ヘラレマセヌケレドモ、支拂方ノ側カラ見マスト、一旦分類所得税ヲ出シテ來マシテ、更ニ其ノ總額ヲ所得ニ入レマシテ、綜合所得税ヲ課ケルノデアリマスカラ、事實上二重課税ニナツテ居ル感ジヲ持ツノデ、此ノ點ハ或ハ

意見ガ違フカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ風ニ一般ニ考ヘテ居ルノデ、サウ云フ點モアリマスシ、事實上綜合所得稅ノ増率ト云フヤウナコトハ、是ハ甚ダ將來トモ困難デアラウト思フノデ、若シ將來所得税ノ増徴ト云フコトヲ御計畫ニナル場合ニハ、此ノ點ヲ慎重ニ御考ヘ願ヒタイト思ツテ居リマス、次ニ段々斯ウ云フ風ニ租稅ガ増加シテ參リマスト云フト、色々ノ租稅、總所得ヲ計算スル方法ナドニ付テ、先程色々御議論ガアツタヤウデスガ、稅務官吏ノ方ニ於テ深切ニ取扱ツテ貰ヒタイト思ツテ居ルノデス、一例ヲ舉ゲマスト云フト、例ヘバ事業所得デ乙種ノ農業所得ナドニ付キマシテ、例ヘバ總所得中カラ必要ナ經費ヲ控除スルヤウニナツテ居リマスガ、必要ナル經費ノ解釋ノ問題デ、例ヘバ農業關係デ水利組合ト云フヤウナ法人ノ賦課スルモノハ、是ハマア公課トシテ引イテ居ルノデス、處ガサウ云フ法人ノ賦課スルモノデナクシテ、例ヘバ部落アタリガ橋ヲ架ケルトカ或ハ川ヲ浚ツタトカ云ツテ、通常相當ノ金額ガ掛ツテ來ルノデス、斯ウ云フ風ナ部落費ト云フヤウナモノモ、或意味ニ於テハ農業關係カラ云ツテ必要ナ經費トシテ、事實ハ是ハ引イテ居ラナイノデス、斯ウ云フモノモ租稅ノ率ガ低イ時代ハ格別問題ニナラナイノデアリマスカレドモ、段々率ガ殖エテ參ルト云フト、所謂必要ナル經費ト云フモノノ解釋ノ餘程考ヘテ戴カナイト、課稅ノ上ニ於テ負擔ノ上ニ於テ、困難ガアルト云フ風ニ思フノデアリマス、サウ云フ點ハドシナ風ニ御考ニナツテ居リマセウカ、伺ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(田中豐君) 御尋ノ中ノ事業所得、農業所得ノコトニ付キマシテ、必要經費トシテ控除致シマス分ニ付キマシテハ、御尋ノ如ク水利組合法ト云フヤウナモノガアツテ、是ハ農業自體ニ、生産ニ關係アル經費デアリマスカラ、當然差引クコトニナツテ居リマス、併シナガラ一般ニ其ノ部落、村ノ施設トシテ、道路ヲ直ストカ橋ヲ造ルト云ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ例ヘバ所得税ノ方デハ經費ト見ナイ、資産ト云フノ同ジヤウナ觀念トシマシテ差引ハ致シマセヌ、尤モサウ云フ費用ニシマシテ、費用ガ生産ニ關係アル、生産的ナ經費ト認メラレ

ルモノハ差引ク建前ニナツテ居ル次第デアリマス、唯是ハ差引ク經費ト見ナイト申シマシテモ、大體ニ於テ農業所得ノ實際ノ課稅ノ方法トシマシテハ、標準率ト云フヤウナモノヲ作ツテ居リマシテ、實際ノ收入ヲ出シ、實際ノ經費ヲ一人々々ニ付テ支拂ハセルコトヲ致シマセヌデ、大數的ナ平均的ナ數字ヲ以テマシテ、一段歩ノ所得ハ、大體ニ此ノ地方ニアツテハ幾ラト、斯ウ云フヤウナ標準率デ課稅ヲ致スコトニナツテ居リマス、其ノ標準率ヲ作成スル基準トシテノ經費ナリ、サウ云フモノノ調査ハ綿密ニ致シマシテ、其ノ結果ヲ標準率ニ現シテ居リマスガ、サウ云フ際ニ、斯ウシタヤウナ生産ニ關係アル經費ハ、總テ差引イテ居ルヤウナ次第デアリマス

○下條康慶君 只今伺ツタノハ、生産ニ關係アルモノトシテハ橋梁ノ問題デスガ、サウ云フコトヲ稅務署ニ申シマシテモ、ナカノ御聽答レガナクテ、法人トカ形ノ固マツタ團體カラ、サウ云フヤウナ額ヘガアツタノデアリマス、今御話ニ依レバ、勿論生産ニ關係

業所得、農業所得ノコトニ付キマシテ、必要經費トシテ控除致シマス分ニ付キマシテハ、御尋ノ如ク水利組合法ト云フヤウナモノガアツテ、是ハ農業自體ニ、生産ニ關係アル經費デアリマスカラ、當然差引クコトニナツテ居リマス、併シナガラ一般ニ其ノ部落、村ノ施設トシテ、道路ヲ直ストカ橋ヲ造ルト云ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ例ヘバ所得税ノ方デハ經費ト見ナイ、資産ト云フノ同ジヤウナ觀念トシマシテ差引ハ致シマセヌ、尤モサウ云フ費用ニシマシテ、費用ガ生産ニ關係アル、生産的ナ經費ト認メラレ

アルモノハ引イテ貰ヘルヤウデスカ
ラ、サウ云フ風ニ御指導願ヘレバ結構
ダト思ツテ居リマス、次ニ酒稅ニ付テ
伺ヒタイノデスガ、酒稅ノ増率ニ依ッ
テ生ズル總額額ガ、大體七割程度ノ増稅
ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ガ他ノ
通行稅トカ入場稅ナドノ振合カラ見マ
スト、少シ輕イノデヤナイカト思ヒマ
ス、他ハ九割程度ノ増トナツテ居リマ
ス、私共酒ヲ餘リ嗜マイカラ言ヘマ
セヌガ、通行稅ヤ何カニ比ベテ、酒稅
ハ同率デアルカ、或ハ少シ餘計デモ宜
イト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ云フ風
ニ御考デスカ

○政府委員(田中豐孝) 現在ノ稅率ヲ
基礎トシテ、ソレニ何割引上ゲタト云
フコトノミヲ考ヘマス、酒稅ハ成ル
程通行稅入場稅ヨリ少イノデアリマ
ス、併シナガラ今日迄ハ酒稅ハ非常ニ
急激ノ引上ヲ致シテ參リマシテ、恐ラ
ク世界申デ、酒稅ニ對スル課稅トシテ
ハ一番高イ課稅課シテ居ルノデアリ
マシテ、諸弊ガアリマスガ、英米獨佛
ノ實際ニ比ベマシテ一番高率ノ課稅
ヲ、増稅前ニ於テモ高率ノ課稅ニ相成
ツテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、ソ
レ等ヲ考慮シテ引上率ヲ少クシタ點モ
アリマスシ、又今回ノ増稅ニ當リマシ
テハ、階級ノ整理ヲ致シテ居リマス、
清酒ニ付キマシテハ從來一級二級
三級ノ三ツニ分レ、其ノ下ニ更ニ價格
特配酒ト云フモノガアリマシテ、實質
上稅率カラ見マスト四階級ニ相成ツテ
居ツタ課稅デアリマス、ソレヲ今回二階
級ニ致シマシテ、一級酒ト二級酒ニス
ル、從來ノ價格特配酒ハ廢止スルト云
フコトニ致シマシタノデ、全體デハ七
割デアリマスガ、例ヘバ從來ノ價格特
配酒ト云フモノカラ見マスト、相當

ノ引上ニナリマス、又一級二級ヲ統
合シマシテ、小賣價格ヲ十五圓程度ニ
ナルヤウニ稅率ノ引上ヲ致シテ居ルノ
デアリマスガ、二級酒カラ見レバ相當
ノ引上ニナル課稅デアリマス、一般ノ稅
率ヲ考慮シマシテ、今回ノ七割程度
ニ上ゲタ次第デアリマス、又通行稅、
入場稅等ニ付キマシテハ、是ハ入場稅
等ニ付キマシテハ、消費ノ性質カラ見
マシテ、最近ハ空襲等ガ頻繁デアリマ
ス爲ニ映畫館等デ多少人ノ入ラナイ、
或ハ閉鎖スルト云フ問題ガアリマス
ガ、サウ云フ關係ノ比較的小イ所ニ於
キマシテハ、ドノ映畫館モ抑スナノ
ノ情勢デアリマシテ、相當ニ、稅率ハ
割合ト高ウゴザイマスガ、稅其ノモノ
ハソレ程高イモノデハアリマセヌ、相
當引上ゲル餘地アリト認メタヤウナ課
デアリマス、通行稅ニ付キマシテモ、
是ハ旅客ノ旅行制限トカ色々ナ問題ガ
アリマス、苟モ旅客ヲ乗セルト云フ場
合ニハ、非常ニ滿員一杯ト云フ情勢デ
アリマスコトハ御承知ノ通りデアリマ
シテ、是等ノ點カラ鑑ミマシテ、相當
大幅ノ引上ヲ講ジテ居ルト云フヤウナ
次第デアリマス

○下條康實君 通行稅、入場稅ノ話ヲ
伺ヒマシタガ、同ジヤウニ酒ニ於テモ
サウデヤナイカト思ヒマス、酒モナカ
ナカ關ガアリマシテ、非常ニ抑スナ押
スナノ狀況デアラウト思ヒマス、私ハ
マダ此ノ點ハ更ニ増徴ノ餘地ノアルモ
ノト考ヘテ居リマスガ、ソレニ付テ斯
ウ云フヤウナコトヲ講ジタラドウカト
云フヤウナ點ヲ伺ヒタイノデアリマ
ス、假ニ改正案ノ當時、例ヘバ小賣價
格ヲ上級酒十五圓トシマシテ、之ヲ配
給ニ普通用フル價格トシマス、併シ料
理店其ノ他ノ業務用ノ酒ハ高クシテ、

所謂今アリマシタ價格特配酒ト逆ノ價
格特配酒、高イ特配酒ヲ作ツタラドウ
カ、マア特殊ノ禁止令ミタヤウナモノ
ニナルカ知レナイガ、事實ニ於テ相當
高ク酒ニ對シテ支拂ハレテ居ルヤウニ
聞イテ居リマスガ、マア或意味ニ於テ
ハ、別ノ意味ノ二重價格ニナル課稅デ
リマス、サウ云フヤウナコトハ實行ハ
如何ナモノデセウカ

○政府委員(田中豐孝) 御說ノヤウニ
酒モ非常ニ少ウゴザイマシテ、是ハ幾
ラ稅率ヲ上ゲテ、相當價格ヲ高ク致シ
マシテモ、消費ハ奪ヒ合ヒ、競争デ消
費スルト云フヤウナ情勢デアラウト思
ヒマス、唯今回稅率ヲ比較の通行稅等
ヨリモ少ク致シマシタノハ、酒ノ稅率
ガ先程申シマシタヤウニ非常ニ高クナ
ツテ居ル(例ヘバ十五圓ノ一級酒引上
ゲタモノノ十五圓ニ相成リマスガ、一
級酒ニ付キマシテモ、大體八割迄ガ租
稅ト云フヤウナコトニナツテ居リマシ
テ、新シイ稅率デアル通行稅、入場稅等
カラ較ベマスレバ、非常ニ酒ノ方ガ多
クナツテ居ルト云フヤウナ情勢ニアル
ノデアリマス、尙酒ニ付キマシテ、消
費ノ實際カラ見テ、例ヘバ料理店等ニ
於テ消費サレルモノニ、更ニ高イ稅ヲ
課稅スルト云フヤウナコトハドウデア
ラウト云フヤウナ御意見ガゴザイマス
ガ、サウ云フコトモ考ヘ得ルト思フノ
デアリマス、事實問題ト致シマシテ砂
糖消費稅等ニ付キマシテハ、普通ノ家
庭ニ於テ消費サレル砂糖ト區別シテ、
料理店等ニ於テ料理用ニ使ハレルモノ
ニハ、特別消費稅ヲ課稅シテ居ル例ガ
アルノデアリマス、併シナガラ酒ニ付
キマシテハ、遊興飲食稅ト云フヤウ
ナ、特別消費稅ト云フヤウナ形ヲ取ツ
テ居ルト私ハ考ヘテ居リマス、即チ料

理店高級飲食店等ニ於キマス消費、是
ハ何モ酒バカシヲ對象トスルノデハア
リマセヌガ、酒ノ量ト云フモノガ支拂
額ノ相當部分ヲ占メテ居リマシテ、是
ニ對シマシテハ高イ酒稅ヲ拂ツタ外
ニ相當高價ノ遊興飲食稅ガ伴フト云
フ情勢ニナツテ居ルノデアリマシテ、
一部ハ全ク酒ニ付キマシテ二重課稅ト
云フ恰好デ、只今御說ノヤウニ、特別
消費稅ノ役割モ、果シテ居ルト存ジ
テ居ルノデアリマス、併シナガラ今後
ノ情勢其ノ他ニ依リマシテ、サウ云ツ
タヤウナ特殊ナ消費稅デナク、直接ノ
酒ニ付テ更ニ高率ノ課稅ヲスルカドウ
カト云フコトニ付キマシテハ、尙考慮
致シタイト思ヒマス

○下條康實君 法人稅ニ付テ伺ヒタイ
ノデスガ、今回臨時租稅措置法第二條
第三條ニ於キマシテ、命令ヲ以テ定ム
ル法人ト、決算後六十日以内ニ法人稅
其ノ他ノ申告ヲ致シマシテ、更ニ申告
ト同時ニ政府ニ納稅スルヤウニ規定サ
レテ居ル、所謂申告納稅制度ト云フモ
ノガ設ケラレテ居リマスガ、此ノ法人
ノ資本金ガ、衆議院ニ於ケル御說明ヲ
見マスト、五百萬圓以上ト云フコトニ
ナツテ居ル、ドウ云フ基準デ御定メニ
ナルノデセウカ

ドウ云フ風ニシテ稅金ヲ算出スルノカ
モ分ラヌヤウナ法人モアリマス、經理
上餘リキチントシテ居ナイ法人ニ付キ
マシテハ、此ノ申告納稅制度ヲ適用ス
ルコトハ、非常ニ困難ナル、相當會
社ノ側ニ手數ヲ掛ケルコトデモアリマ
スシ、サウ云ツタ事情カラ、差當リト
致シマシテハ資本金五百萬圓以上ノ法
人ト云フ場合ニハ、從來ノ例ニ徵シマ
シテ、從來ノ申告ヲヤツテ居ツタ課稅
アリマス、申告等ガキチント出來、比
較的間違ヒガ少イト云フ實情ニアリマ
スノデ、サウ云フ事情カラ推シマシ
テ、差當リ五百萬圓以上ノ法人ト云フ
コトニ致シタ課稅デアリマス、併シナガ
ラ五百萬圓以上ノ法人ノミナラズ、別
ニ大藏大臣ノ指定スル法人ト云フヤウ
ナモノハ、五百萬圓以下デモ之ヲ命令ノ
定ムル所ニ依ツテ、此ノ制度ヲ適用致
シタイト考ヘテ居リマスガ、其ノ大藏
大臣ノ定メルモノト致シマシテハ、特
ニ政府ノ監督ヲ受ケテ、經理ガキチン
トシテ居ルヤウナ統制會社デアルト
カ其ノ他稅務署長等デ、從來ノ法人
ノ決算等ニ照シマシテ、之ヲ適用スル
コトガ適當デアルト云フヤウナ法人ニ
付キマシテハ、之ヲ指定シテ、五百萬
圓以下ト雖モ、適用致シタイト考ヘテ
居ル次第デアリマス

○下條康實君 能ク分リマシタガ、資
本金ダケデモ、實ハ會社ノ經理內容ガ
ハツキリシナイノデアリマシテ、近來
ハ資本金ガ割合少クテモ、借入金等
ニ依ツテ大キナ仕事ヲシテ居ル會社ガ
澤山アルノデアリマス、デアリマスル
カラ今御話ノ通り、差當リ五百萬圓ト
シテヤツテ御覽ニナツテ、若シ又其ノ
實況デ成績ガ好ケレバ、之ヲ百萬圓ナ
リニ低下シテ、大變良イ制度ダト思ヒ

マスガ、之ヲ實行セラレルヤウニ致シテ戴キタイト思フ居リマス、ソレデ昨日チヨット伺ツタノデアリマスルガ、マダハツキリ納税額ガ定マラナイモノ、一應該法人ノ申告ニ依ツテ、納メル課税額ガ、更に一步進メテ、先キチヨット大蔵大臣ニ伺ツテ、實ハ能ク分ラナカツタノデスガ、前三箇年ノ納税額ニ依リマシテ、大體一應納税金額ヲ假ニ定メマシテ、ソレヲ假ニ法人ニ對スル政府支拂金ノ中カラ控除スルコトヲ考ヘテ居ルノデスガ、サウ致シマス、マア一時ハ今モ述ベタヤウニ、當年度ト次ノ年度トカチ合ツテ、ダブルカモ知レマセスガ、申告納税制度デモ、昭和二十年年度ニハ増加ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、一步ヲ進メテ、決算前ニ於テモ今ノ税額ヲ想定シテ支拂フヤウナ制度ヲ、御考ニナツテハドウカト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ伺ヒタイノデス

○政府委員(田中豐孝) 政府カラ色々支拂ヲ受ケテ居ルヤウナ法人等ニ付キマシテ、前三箇年程度ノ、マア方法ハ色々アリマセウケレドモ、納税額ト云フモノヲ想定シテ、政府ノ支拂額カラ差引イタラドウデアラウカト云フ御意見デゴザイマスガ、其處迄ハ我々トシテモ考ヘテ居リマセウ、唯先日モ下條委員ノ御話ニ出マシタヤウニ、「ドイッ」デ租税證券等ヤリマシタ場合ニ、物件ノ支拂ノ六割ト四割、ドツチガ現金デアツタカ證券デアツタカ、四割ハ租税證券デ支拂フト云フコトヲ實行シマシテ、サウシテ其ノ證券ノ當年度ノ租税ニ當テシメルト云フヤウナコトヲ致シタト云フヤウナ事實モ調査致シマシテ、是ハ戰爭ガ開始シタノデ廢止シ

タト云フコトニナツテ居リマスガ、餘程手續ナド、手數ナドモ繁雜デアツタヤウニ聞イテ居リマス、現金ガ出廻ラナクテ資金ノ放出等ヲ少クシテ「インフレ」防止上非常ニ役立ツト云フコトニ付キマシテハ、非常ニ好イ御意見ダト思フノデアリマスガ、唯實際ノ事務ガ非常ニ繁雜ニナリハシナイカト云フヤウナ問題ガ懸念セラレマスルシ、又最近ノ法人ノ會社等ノ收益ノ狀況ト云フヤウナモノモ、可ナリ原材料ノ關係デアルトカ、註文ノ整理統合ト云フヤウナコトデ、收益ガ事業年度毎ニ、相當ノ異動ヲ示スヤウナ傾向ニアルト想像サレルノデアリマス、サウ云フ際ニハ、前ノ實績ニ依ツテ一應納税サレテ置クト云フコトガ、ドウカト云フコトガ、懸念セラレマスルガ、マダ研究致シマセスガ、チヨット思ヒ付デ意見ヲ申述ベタ次第デアリマスガ、サウ云フ點ニ付テモ將來研究致シタイト思ヒマス

○下條康吉 昨日大蔵大臣ハ、租税證券ハ失敗ダト云フ御話ガアツタノデスガ、私ハ左様ニ考ヘテ居ラナイノデス、實ハ大蔵省デ御調ニナツタ書類ニ付テ私ハ見テ居ルノデスガ、相當成績ヲ擧ゲテ居ルヤウニ思ヒマス、唯御話ノヤウニ複雑ニナツタト云フコトハ、サウ思フノデアリマスガ、併シナガラ千九百三十九年九月ニ始マツテ、十月ニ廢止サレタ、戰爭ガ始マツタ爲ニ止メタダケデアツテ、詰リ公債ニ依ツテ財源ヲ得ヨウト云フコトデアツテ、其ノ爲ニ止メタト云フ風ニ聞イテ居ルノデスガ、ソレデアリマスルカラ多少複雑デアツテモ、今日ノヤウナ非常ニ政府ノ放出金ニ依ツテ、「インフレ」ガ起ルヤウニ考ヘテ居リマス、サウ云フ場合

ニハ、少シデモ政府放出金ヲ延ス、絶對ニ支拂ハナイト云フ課税ハナイノデスカラ、結局ハ支拂フノデスケレドモ、證券ニ依ツテ支拂フ、サウ云フ證券ハ成ルベク早く、用ヒナケレバ用ヒナイホド率ガ好ナツテ居ルノデス、何箇月内ナラバ百圓ノモノハ百圓、ソレヲ超エレバ百二十圓ニナルトカ、獎勵金見タイノモノガ附イテ居ルヤウデアリマス、サウ云フ課税政府ニ對スル還元ヲ延期スルコト云フヤウナ恰好ニナツテ居ルノハ、斯ウ云フ際ニ用フベキモノデアルト考ヘマス、尙ハ資料ヲ御取寄セニナリマシテ御研究願ツテ、適當ニ善處セラレムコトヲ希望致スノデアリマス

○委員(長)伯備林太郎君 内田君 内田重成君 先程下條サンノ觸レラレタ問題デアリマスガ、綜合所得ノ計算方ニ付キマシテ、先程下條サンノ述ベラレマシタヤウニ、分類所得デ既ニ差引カレタ税金ト云フモノハ、是ハ收入者ノ任意ニ拋棄シタモノデハナイ、是ハ公ケナ方法ニ依ツテ、規則ニ依ツテ差引カレタモノデ、現實ニ其ノ所得者ノ所得トナツタモノデハナイ、ソレデアリマスルカラ、分類所得ニ依ツテ差引イタ所ノアトノ殘額ヲ綜合所得デ計算スベキモノデアルト云フコトガ、是ガ通念デアルト思フノデアリマス、法律ノ上デ見マシテモ、必ズシモサウ云フ解釋ニ抵觸スル所ハナイ、私ハ別段是ハ法律ノ改正ヲ必要トセズシテ、解釋ニ依ツテサウ云フコトニ、即チ分類所得ニ依ツテ差引イタ額ヲ綜合所得ニ計算スルコト云フコトガ、極メテ正當デアルト考ヘル、一旦自分ノ手ニ受取ツテ、ソレヲ寄付金ニシタトカ云フモノトハ違フ、公ケノ權力ニ依ツテ法律的

ニ取上ゲテシマツタモノデアルカラ、詰リ其ノ部分ト云フモノハ收入デヤナイ、收入ニ非ザルモノヲ收入トシテ計算スルコト云フコトハ、是ハ理窟ニ合ハナイト思フ、是ハ前ノ稅制改革ノ際ニ、私ハ矢張りサウ云フ意見ヲ持ツテ居リ、サウ云フコトヲ申シテ居ツタノデアリマスルガ、今日ノ實際ハサウデヤナクテ、綜合所得ニ付テハ、分類所得デ差引イタモノヲ差引カレザルモノトシテ、收入シタルモノトシテ計算スルコト云フコトニナツテ居ル、又サウ云フコトニ解釋シテ實際實行シテ居ルノデアリマス、是ハ大キナ間違ヒダト私ハ思フ、サウセヌト云フト、所謂二重課税ト云フ理窟モ生ジテ來ルノデアリマス、二重課税必ズシモ惡イト云フコトデハアリマセウケレドモ、是ハ今度ノヤウニ稅率ガ非常ニ分類所得ニ於テ上ツタ點ニ於キマシテ、實際個人ノ收入ニナラザルモノヲ收入ニナツタモノトシテ徵ルコト云フノハ、茲ニ即チ法律ノ苛徴請求ガアルト云フコトニナツテ來ル、是ハ若シ解釋上ドウシテモソレガイケヌト云フナラ、法律ノ改正ヲ必要トスル、解釋上ソレデ差支ナイト云フコトニナルナラバ、其ノ通りニ實行スルコト云フコトガ、私ハ適當ダラウト考ヘル、ソレデ法律ヲサウ云フ風ニ解釋セル、何處ニ抵觸スル所ガアルデアリマセウカ、ソレヲ御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(田中豐孝) 少シ理窟メイテ恐レ入リマスガ、分類所得稅トシテ控除シタモノハ、其ノ人ノ所得デアルト考ヘマス、所得ノ中カラソレダケノ税金ヲ支拂ツタ課税デアリマス、從ツテ分類所得稅トシテ納付シタモノハ其ノ人ノ總所得ノ一部デアリマシテ、其ノ

總所得ニ對シテ課税スルコト云フコトガ、理窟上ハ正當デアルト思フノデアリマス、唯稅ガ分類所得稅ト綜合所得稅、二ツニ分レテ居リマス爲ニ、分類所得稅ヲ拂ツテ、サウシテ其ノ殘リニアラズシテ、矢張り同ジ分類所得稅ノ對象ニナツタ總得ノ所得ヲ又對象トシテ綜合所得稅ヲカケル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデ、二重ト云フ感ジヲ懷カシメルコトニ相成ルト思ヒマスガ、之ヲ兩方一緒ニシテ、分類所得稅トシテ納メタモノト綜合所得稅トシテ支拂ツタモノ、兩方合シタモノガ分類所得稅綜合所得稅ヲ通ズル所得稅額デアルト御考ヘ下サレバ、此ノ私ノ申上ゲテ居ルヤウニナルカト思フノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ、其ノ人ノ前年中ノ所得ニ對シテ分類所得稅ヲカケ、綜合所得稅ヲカケルト云フコトニナツテ居リマスルノデ、分類所得稅ヲ支拂ヒマシテモ、ソレハ其ノ人ノ所得デアルト云フコトニ變リハナイノデアリマシテ、所得ノ中カラ分類所得稅ヲ支拂ツタ、更に總額ノ所得ニ對シテ綜合所得稅ヲカケル、斯ウ云フ建前ニナツテ居ルノデアリマシテ、之ヲ控除スルカシナイカハ、全體トシテノ分類所得稅綜合所得稅ヲ通ズル稅率ノ按配ノ問題ト思ヒマス、若シ差引クヤウニスレバ、減稅ヲ引上ゲルト云フコトデナケレバ、稅率ヲ引上ゲルト云フ問題ガアルト思フノデアリマスガ、當初カラ十五年ノ稅制改正ノ際ニ、分類所得稅綜合所得稅ト二本建ノ所得稅制度ヲ採リマスル際ニ、サウ云フヤウニ或部分ニ付テハ兩方共、總所得ノ對象トシテ、分類所得稅ヲ差引カヌモノデ綜合所得稅モ課税スルコト云フ建前ノ下ニ、負擔ヲ考慮シマシテ、ソレレノ分類所得

稅綜合所得稅ノ稅率ト云フモノガ決メラレタノデアリマス、左様ナ趣旨カラ、法律上差引クコトハ不適當デアリ、又之ヲ今日改正スルカドウカト云フ問題ニナリマス、是ハ綜合所得稅ニ付テ減稅ヲスルト云フコトニ相成ル譯デアリマスガ、ソレガ適當カドウカト云フコトハ、餘程慎重ニ考慮ヲ要スルモノデナイカト考ヘマス。

○内田重成君 モウ一點伺ヒマス、此ノ不動產ノ貸付ニ依ル所得ノ計算ニ付テノ實際ノ問題デアリマスガ、不動產貸付、多クハ田畑ノ小作問題ニ關係スルノデ、小作問題ガ多イノデアリマス、御承知ノヤウニ現在ノ小作關係ニ於キマシテハ、現作者小作ト、地主、土地所有者トノ關係ハ、相變ラズ土地所有者ガ非常ニ弱イ立場ニ居ルノデアリマシテ、旱害、水災、風害、蟲害ト云フヤウナ、各種ノ災害ノ場合ニ、多少ノ其處ニ減收等ガアリマスルト云フト、之ヲ口實トシテ現作者、即チ小作人ヨリ地主ニ納付スベキ小作料ニ付テハ、勝手ニ現作者ノ方デ之ヲ減額シテ地主ニ納メテ居ルト云フヤウナ實情デアリマス、之ヲ爭フナラバ、常ニ小作爭議ヲ惹キ起スト云フヤウナ狀態デ、普通各方面デ、此ノ關係ニ於キマシテハ、大體ノ場合成ルベク爭議ヲ起サヌヤウニスル爲ニ、地主ガ現作者ノ納メタモノデ甘シテ居ルト云フ實情デアリノデアリマス、然ルニ收稅上ニ於キマシテモ、サウ云フ實情ガ分ツテ居リマシテモ、大抵小作料ノ二割三割ト云フヤウナ減收ニナツテ居ルト云フ實情ガ明瞭デアリマシテモ、政府ノ方デハ、元來ソレハマケナクテモ、地主ニ於テ取ルベキ權利ガアルカラ、マケタト云フノハ貴様ノ勝手ダ、マケナクテ

モ取ルダケノ權利ヲ持つテ居ルノダカラ、取ツタモノト看做シテソレヲ所得ニ計算スルト云フヤウナヤリ方ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ地主ノ方ト致シマシテハ、實際三割四割ノ減額タル收入シカ取ツテ居ラヌノデアアルガ、納稅上ニ於テハ全部收納シタモノシテ徵稅ヲサル、譯ニナルノデアリマス、是ガ分類所得ニモ、又綜合所得ニモ入ルノデ、其處ニ大キナ開キガ生ジテ居ル、中ニハ小作人ガ全然納メヌモノモアル、ソレハ今ノ狀態カラシマスト、土地所有者ガ訴訟デモ起シテ強制執行デモシテ取ルトカ、又ハ土地ヲ引揚ゲルトカ云フヤウナコトハ出來ナイ狀態ニ居ルノデアリマスカラ、殆ド納入ヲセヌト云フヤウナ場所モ、土地柄デアリマスルガ、相當ニ多イノデアアルニ拘ラズ、ソレモ矢張り權利ヲ持つテ居ルカラト云フ權利論デ、稅務署ノ方デハ皆取上ゲルト云フ狀態ニナツテ居ツテ、頗ル實情ニ副ハナイ、ソレデ地方ノ地主ト云フモノハモウ要ラヌモノダ、ダカラ、サウ云フ者ハ棄テシマヘト云フ議論ナラバ格別デアリマシガ、サウハ參ラヌデアラウト思フノデアリマスガ、是ハ又他ノ方ニ少シ話ガ進ミマスカラ、地主擁護論ハ私ハ今此處デハ致シマセヌケレドモ、サウ云フ實情デアリマス、之ニ對シテハ非常ニ無理ヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、何トカ權利論ヲ棄テテ、取ルベキ權利ガアルカラ、權利ハ收入ト見テ加算スルノダト云フヤウナ議論ハ、ドウモ實情ニ即シナイモノデアツテ、頗ル人心ヲ惡化セシムル端緒ニモ相成ルノデアリカラ、何トカ考慮ノ途ハナイノデアリマスガ、三十條ニハ「個人ノ總所得ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算出ス、

一、不動產、不動產上ノ權利又ハ船舶ノ貸付ニ因ル所得ハ前年中ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額」ト云フ規定ガアル、前年中ノ總收入額ニナツテ居ラヌ場合ニモ、ソレガ徵々タルモノナラバ宜シイガ、大キイモノデアル場合ニハ、其ノ土地所有者ハ非常ニ苦難ニ陥ツテ居ル實情デアリマシガ、是ハ幾ラ稅務當局ニ話ヲシテモ、地方デハナカク、話ガ満足ニ參ラナイデ、全然、今私ノ申スヤウナコトハ認メラレナイ實情デアリマスガ、他ニ方法ノナイモノデアリマセウカ、ドウデスカ

○政府委員(田中豐君) 地主等ガ實際ニ小作人ニ對シテ小作料ヲ減免シタ、契約小作料以下ノ小作料デ我慢シタト云ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、減免シタ事實ガ明カナラバ、其ノ減免シタ分ニ付テハ所得デナイコト勿論デアリマシテ、課稅致サナイ管デアリマスガ、唯サウ云フ減免ノ場合ニ、減免ノ原因ガ概ネ其ノ村全體デアルトカ、其ノ地方ニ水害ガアツタトカ、不作ノ爲ニ可ナリ廣イ範圍ニ小作料ノ減免等ガ行ハレテ居リマス場合ハ、其ノ減免シタ事實ヲ調査致シマシテ、先程下條委員ニ御答辯申シマシヤウニ、標準率ヲ作リマス際ニ、其ノ地方ニ於ケル昨年ノ米ノ收穫高ハ是位デアル、小作料ハ是位デアルト云フ計算ノ下ニ、減免シタコトヲ基礎トシテ標準率ヲ作成スルノデ、ソレガ所得ニモ反映シテ無理ノナイ課稅ニ相成ルト思フノデアリマス、唯、一ツノ地方デハ減免ト云フコトガ別ニ大キナ事實デナク、普通ニ小作料ガ收納セラレテ居ツテ、個々ノ事情デ小作料ヲ實際取レナクツタト云ツタヤウナ場合ニ於テモ、先程申シタヤ

ウニ一人々々ノ所得ヲ實際ニ調査シナイデ、標準ノ課稅方法ヲ現在執ツテ居リマス爲ニ、サウ云フ個別的ナ事情ガアリマシテモ、其ノ分ニハマケナクツタト同ジヤウナ課稅ガ一應ハ參ルト思フノデアリマス、併シソレハ實際マケタコトガ明カナラバ、免除スルノガ正當デアリマスカラ、誤謬訂正トカ何トカ云フ方法ニ依ツテ、是ハ直スベキモノト思ヒマス、實際ノ扱ニ於テ手數ガ掛カルトカ何トカデ、先程御話ノヤウナ不當ノ取扱モアリマセウガ、サウ云フコトニ付キマシテハ嚴重ニ注意致シタイト思ヒマス、唯先程御讀ミニナリマシタ前年中ノ收入金額ト云フ此ノ法律ノ條文ハ、現實ニ收入シタト云フコトニ解釋シテ居ナイデ、收入スベキ金額ト云フコトニ解釋致シテ居リマス、從ツテマダ取レル、減免シタト云フコトガ明カデナクテ、唯事實上ノ問題トシテ一部シカ小作人ガ持つテ來ナクツタ、後カラ取レルノダト云フ狀態ニ在ル時ニハ、法律論トシテハ課稅スベキモノト思フノデアリマスガ、實際問題トシテハ御話ノヤウニ事實取レナイ場合ガ多イノデアリマスシ、サウ云フコトガ明カナラバ、其ノ實際收納シタ小作料ニ應ジテ課稅ヲ是正スベキモノト思ヒマス、一部サウ云ツタコトガウマク行ハレテ居ナイ所ガアレバ、注意致スコトニ致シタイト思ヒマス

○内田重成君 分リマシタ、次ニ銀行關係ノ方ニ伺ヒマス、戰時經濟ニ於テ貯蓄ガ最も必要ナ問題ニ相成ツテ、貯蓄ノ重要性ニ付テハ、政府ニ於キマシテモ、非常ニ御力ヲ御入レニナツテ居ル、又現在ノ戰力増強及維持、其ノ他各種ノ經濟關係ニ於キマシテ、貯蓄ノ部面ニ於テ只今國民モ非常ニ協力ヲ致シ、一生懸命ニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、ソレニ付キマシテ貯蓄機關ノ一ツトシテ、市街地信用組合モアル譯デアリマスルガ、此ノ市街地信用組合ノ中デ最近勃興致シマシタ地方ノ都市アタリニ於テ、從來市街地信用組合デナクシテ、町村信用組合デアツタモノガ、新タニ市街地信用組合デアツタモノガ、信用組合トナリ、其ノ爲ニ新シク構成サレタル所ノ市ニ於キマシテ、二箇三箇ト云フヤウナ市街地信用組合ガ現出シタ譯ニ相成ルノデアリマス、其ノ各ノ管轄區域ハ、從來ノ町村デアツタ場合ノ區域ト、從來市部デアツタ部分トヲ區分シテ、互ニ其ノ管轄區域トシテ居ルヤウナ實情ガ往々ニ見受ケラレルノデアリマス、茲ニ於キマシテ、其ノ間ニ今迄ハ同一市内ニナツテ居リマス其ノ同一市内ニ於テ、各信用組合ガ勵キマスル區分ガ、互ニ錯綜ハ致シマセヌガ、各ノ信用組合ガ其ノ同ジ市内ニ於キマシテ、各方面ニ對スル手當、盡力ガ、掣肘ヲ受ケルコトガ多イノデアリマシテ、從ツテ甲ノ信用組合ハ乙地ニ、乙ノ信用組合ハ甲地ニ互ニ自己ノ手腕ヲ伸シ得ルニ拘ラズ、之ヲ伸シ得ナイ感ガアリマスルノデ、今日ノヤウナ、殆ド信用組合ハ貯蓄ト云フ問題ニ付キマシテ、之ヲ唯一ノ使命ノヤウニ思ツテ居リ、殆ド貯蓄以外ニハ市街地信用組合ノ使命ハナイカラヤウニ、一生懸命ニナツテ貯蓄問題ニ邁進ヲ致シテ居ル時代ニ於キマシテ、此ノ一ツノ市内ニアリマスル數箇ノ信用組合ガ、勵力ヲ差控ヘルヤウナコトガアツテハナラヌト考ヘテ居リマスガ、是ガ若シ最近ニ行ハレマシタ地方ノ小銀行ノ合併ノ如キ方法ヲ以テマシテ、小都市間ニ於ケル數箇ノ市街地信

一、不動產、不動產上ノ權利又ハ船舶ノ貸付ニ因ル所得ハ前年中ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額」ト云フ規定ガアル、前年中ノ總收入額ニナツテ居ラヌ場合ニモ、ソレガ徵々タルモノナラバ宜シイガ、大キイモノデアル場合ニハ、其ノ土地所有者ハ非常ニ苦難ニ陥ツテ居ル實情デアリマシガ、是ハ幾ラ稅務當局ニ話ヲシテモ、地方デハナカク、話ガ満足ニ參ラナイデ、全然、今私ノ申スヤウナコトハ認メラレナイ實情デアリマスガ、他ニ方法ノナイモノデアリマセウカ、ドウデスカ

○政府委員(田中豐君) 地主等ガ實際ニ小作人ニ對シテ小作料ヲ減免シタ、契約小作料以下ノ小作料デ我慢シタト云ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、減免シタ事實ガ明カナラバ、其ノ減免シタ分ニ付テハ所得デナイコト勿論デアリマシテ、課稅致サナイ管デアリマスガ、唯サウ云フ減免ノ場合ニ、減免ノ原因ガ概ネ其ノ村全體デアルトカ、其ノ地方ニ水害ガアツタトカ、不作ノ爲ニ可ナリ廣イ範圍ニ小作料ノ減免等ガ行ハレテ居リマス場合ハ、其ノ減免シタ事實ヲ調査致シマシテ、先程下條委員ニ御答辯申シマシヤウニ、標準率ヲ作リマス際ニ、其ノ地方ニ於ケル昨年ノ米ノ收穫高ハ是位デアル、小作料ハ是位デアルト云フ計算ノ下ニ、減免シタコトヲ基礎トシテ標準率ヲ作成スルノデ、ソレガ所得ニモ反映シテ無理ノナイ課稅ニ相成ルト思フノデアリマス、唯、一ツノ地方デハ減免ト云フコトガ別ニ大キナ事實デナク、普通ニ小作料ガ收納セラレテ居ツテ、個々ノ事情デ小作料ヲ實際取レナクツタト云ツタヤウナ場合ニ於テモ、先程申シタヤ

ウニ一人々々ノ所得ヲ實際ニ調査シナイデ、標準ノ課稅方法ヲ現在執ツテ居リマス爲ニ、サウ云フ個別的ナ事情ガアリマシテモ、其ノ分ニハマケナクツタト同ジヤウナ課稅ガ一應ハ參ルト思フノデアリマス、併シソレハ實際マケタコトガ明カナラバ、免除スルノガ正當デアリマスカラ、誤謬訂正トカ何トカ云フ方法ニ依ツテ、是ハ直スベキモノト思ヒマス、實際ノ扱ニ於テ手數ガ掛カルトカ何トカデ、先程御話ノヤウナ不當ノ取扱モアリマセウガ、サウ云フコトニ付キマシテハ嚴重ニ注意致シタイト思ヒマス、唯先程御讀ミニナリマシタ前年中ノ收入金額ト云フ此ノ法律ノ條文ハ、現實ニ收入シタト云フコトニ解釋シテ居ナイデ、收入スベキ金額ト云フコトニ解釋致シテ居リマス、從ツテマダ取レル、減免シタト云フコトガ明カデナクテ、唯事實上ノ問題トシテ一部シカ小作人ガ持つテ來ナクツタ、後カラ取レルノダト云フ狀態ニ在ル時ニハ、法律論トシテハ課稅スベキモノト思フノデアリマスガ、實際問題トシテハ御話ノヤウニ事實取レナイ場合ガ多イノデアリマスシ、サウ云フコトガ明カナラバ、其ノ實際收納シタ小作料ニ應ジテ課稅ヲ是正スベキモノト思ヒマス、一部サウ云ツタコトガウマク行ハレテ居ナイ所ガアレバ、注意致スコトニ致シタイト思ヒマス

○内田重成君 分リマシタ、次ニ銀行關係ノ方ニ伺ヒマス、戰時經濟ニ於テ貯蓄ガ最も必要ナ問題ニ相成ツテ、貯蓄ノ重要性ニ付テハ、政府ニ於キマシテモ、非常ニ御力ヲ御入レニナツテ居ル、又現在ノ戰力増強及維持、其ノ他各種ノ經濟關係ニ於キマシテ、貯蓄ノ部面ニ於テ只今國民モ非常ニ協力ヲ致シ、一生懸命ニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、ソレニ付キマシテ貯蓄機關ノ一ツトシテ、市街地信用組合モアル譯デアリマスルガ、此ノ市街地信用組合ノ中デ最近勃興致シマシタ地方ノ都市アタリニ於テ、從來市街地信用組合デナクシテ、町村信用組合デアツタモノガ、新タニ市街地信用組合デアツタモノガ、信用組合トナリ、其ノ爲ニ新シク構成サレタル所ノ市ニ於キマシテ、二箇三箇ト云フヤウナ市街地信用組合ガ現出シタ譯ニ相成ルノデアリマス、其ノ各ノ管轄區域ハ、從來ノ町村デアツタ場合ノ區域ト、從來市部デアツタ部分トヲ區分シテ、互ニ其ノ管轄區域トシテ居ルヤウナ實情ガ往々ニ見受ケラレルノデアリマス、茲ニ於キマシテ、其ノ間ニ今迄ハ同一市内ニナツテ居リマス其ノ同一市内ニ於テ、各信用組合ガ勵キマスル區分ガ、互ニ錯綜ハ致シマセヌガ、各ノ信用組合ガ其ノ同ジ市内ニ於キマシテ、各方面ニ對スル手當、盡力ガ、掣肘ヲ受ケルコトガ多イノデアリマシテ、從ツテ甲ノ信用組合ハ乙地ニ、乙ノ信用組合ハ甲地ニ互ニ自己ノ手腕ヲ伸シ得ルニ拘ラズ、之ヲ伸シ得ナイ感ガアリマスルノデ、今日ノヤウナ、殆ド信用組合ハ貯蓄ト云フ問題ニ付キマシテ、之ヲ唯一ノ使命ノヤウニ思ツテ居リ、殆ド貯蓄以外ニハ市街地信用組合ノ使命ハナイカラヤウニ、一生懸命ニナツテ貯蓄問題ニ邁進ヲ致シテ居ル時代ニ於キマシテ、此ノ一ツノ市内ニアリマスル數箇ノ信用組合ガ、勵力ヲ差控ヘルヤウナコトガアツテハナラヌト考ヘテ居リマスガ、是ガ若シ最近ニ行ハレマシタ地方ノ小銀行ノ合併ノ如キ方法ヲ以テマシテ、小都市間ニ於ケル數箇ノ市街地信

シ、一生懸命ニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、ソレニ付キマシテ貯蓄機關ノ一ツトシテ、市街地信用組合モアル譯デアリマスルガ、此ノ市街地信用組合ノ中デ最近勃興致シマシタ地方ノ都市アタリニ於テ、從來市街地信用組合デナクシテ、町村信用組合デアツタモノガ、新タニ市街地信用組合デアツタモノガ、信用組合トナリ、其ノ爲ニ新シク構成サレタル所ノ市ニ於キマシテ、二箇三箇ト云フヤウナ市街地信用組合ガ現出シタ譯ニ相成ルノデアリマス、其ノ各ノ管轄區域ハ、從來ノ町村デアツタ場合ノ區域ト、從來市部デアツタ部分トヲ區分シテ、互ニ其ノ管轄區域トシテ居ルヤウナ實情ガ往々ニ見受ケラレルノデアリマス、茲ニ於キマシテ、其ノ間ニ今迄ハ同一市内ニナツテ居リマス其ノ同一市内ニ於テ、各信用組合ガ勵キマスル區分ガ、互ニ錯綜ハ致シマセヌガ、各ノ信用組合ガ其ノ同ジ市内ニ於キマシテ、各方面ニ對スル手當、盡力ガ、掣肘ヲ受ケルコトガ多イノデアリマシテ、從ツテ甲ノ信用組合ハ乙地ニ、乙ノ信用組合ハ甲地ニ互ニ自己ノ手腕ヲ伸シ得ルニ拘ラズ、之ヲ伸シ得ナイ感ガアリマスルノデ、今日ノヤウナ、殆ド信用組合ハ貯蓄ト云フ問題ニ付キマシテ、之ヲ唯一ノ使命ノヤウニ思ツテ居リ、殆ド貯蓄以外ニハ市街地信用組合ノ使命ハナイカラヤウニ、一生懸命ニナツテ貯蓄問題ニ邁進ヲ致シテ居ル時代ニ於キマシテ、此ノ一ツノ市内ニアリマスル數箇ノ信用組合ガ、勵力ヲ差控ヘルヤウナコトガアツテハナラヌト考ヘテ居リマスガ、是ガ若シ最近ニ行ハレマシタ地方ノ小銀行ノ合併ノ如キ方法ヲ以テマシテ、小都市間ニ於ケル數箇ノ市街地信

用組合ハ之ヲ合併シテ、一ツノ機構ノ下ニ於テ、其ノ能力ヲ發揮セシムルナラバ、ヨリ以上ノ働キガ出來ルノデハナカラウカト云フヤウナ感ジヲ持ツ部面ガアルノデアリマスルガ、一體、政府ト致シマシテハ、左様ナ小機構ノモノヲ一ツノ市内ニ數箇置イテモ差支ナイト云フヤウナ御考デアリマスカ、又ハ是ハ成ルベク合併シテ、其ノ大キナ力ヲ以テ總力ヲ發揮サシタ方ガ宜シイト云フヤウナ御考ハナイモノデアリマセウカ、若シ之ニ付キマシテ御方針ガ御アリデアリマスルナラバ、一ツソレヲ承リタイト存ズルノデアリマス

○政府委員(山際正道君) 戦時ニ於ケル財政金融運営ノ根幹ヲ成シテ居リマスル貯蓄ノ増強ノ問題ニ關シマシテ、只今御話ノ如ク、市街地信用組合ガ今日甚ダ重要ナル役割ヲ占メテ居リ、又非常ニ其ノ方面ニ御關係ノ各位ガ熱心ニ御努力ニ相成ツテ居リマスコトハ、誠ニ御指摘ノ通りダト存ジマス、然ル處、各方面デ現在起ツテ居リマス通り、新興ノ都市ガ各地ニ簇出ヲ致シマシテ、ソレガ漸次附近ノ町村等ヲ合併致シマシテ、戦時下行政區域ヲ擴大スルヤウナ場合ニ、只今御話ニゴザイマシタ通り、元々其處ニ市街地信用組合ガアリマシタ所ニ、合併致シマシタ町村ニアリマシタ從前ノ所謂農村信用組合ガ市街地信用組合トナツテ、一小都市ニ數箇ノモノガ併立スルト云フ結果ニナリマスル場合ガ屢、アルノデゴザイマス、左様ナ場合ニ於キマシテハ、只今御話ノ通り行政區域ハ擴大サレタニ拘ラズ、内部ニアル市街地信用組合ノ區域ガソレニ適應シテ調整セラレテ居リマセヌガ爲ニ、或ハ御互ニ牽制ヲシテ十分ナ力ヲ發揮シ得ナイトカ、或

ハ場合ニ依ツテハ事實上競争ヲシテ、無用ノ浪費ヲ致シテ居ルトカ、又ヨリ一層區域ヲ新市域ニ適合サセテ調整スルナラバ、能率ヲ増シテ一層貯蓄ノ増強ヲシ得ルヤウナ場合ガ實ハ少クナイト存ズルノデゴザイマス、斯様ナ事柄ガ極メテ顯著ナ場合ニ於キマシテハ、何ト致シマシテモ、ソレハ十分ニ其ノ區域ヲ調整ヲ致シ、從ツテ其ノ數箇ノ組合間ニ於テハ合併ヲ致シテ、其處ニ總力ヲ集結シテ、其ノ區域内ニ於テ、極メテ權衡ノ取レタ合理的ナ貯蓄ノ増強ニ當ルト云フコトハ、此ノ時局下ニ於テ當然要請セラレベキモノデアラウト存ズルノデゴザイマス、從來モ左様ナ弊害、又統合ニ依リ利益ノ顯著ノ場合ニ於キマシテハ、政府當局ト致シマシテハ勿論其ノ統合ヲ希望致シマシテ、極力關係者ニ之ヲ勸奨致シマシテ、合理的ナ貯蓄増強ガ出來マスルヤウニ推進ヲ致シテ參ツテ居ルノデゴザイマス、勿論今後ニ於キマシテモ、左様ナ場合ニ於キマシテハ、能ク關係者ニ懇談モ致シ、説得モ致シマシテ、關係者總テノ納得ヲ得テ、十分合理的且強力ナル貯蓄ノ推進ガ出來マスルヤウ、統合ノ方面ニ向ツテ推進致スベキモノト考ヘテ居リマス

○内田重成君 只今ノ御説明ニ依ツテ、政府ノ御意圖ヲ能ク了解ヲ致シマシタ、此ノ點ニ付キマシテ只今ノヤウナ御趣旨ガ地方ニモ徹底ヲ致シマスルヤウニ御取扱ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマス
○委員長(伯爵林博太郎君) 本日ハ此ノ程度デ散會致シマシテ、明日午前十時ヨリ開會致シマス
午後三時九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 男爵稻田 昌植君
委員

公爵德川 家正君
侯爵細川 護立君
侯爵筑波 藤麿君
子爵松平 乘統君
子爵西尾 忠方君
子爵梅園 篤彦君
子爵安藤 信昭君
子爵本多 忠晃君
下條 康麿君
内田 重成君
長 世吉君
男爵松平外與麿君
男爵近藤 滋彌君
男爵島津 忠彦君
三浦 新七君
黒田 英雄君
澤田 牛麿君
竹下 豐次君
千石興太郎君
正力松太郎君
橋本辰一郎君

國務大臣

大藏大臣 石渡莊太郎君

政府委員

大藏政務次官 小笠原三九郎君
大藏參事官 田村 秀吉君
大藏省總務局長 山際 正道君
大藏省主稅局長 田中 豐君
大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君
大藏書記官 平田敬一郎君

昭和二十年二月七日印刷

昭和二十年二月八日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局